

市民活動・協働応援制度補助金交付事業報告会

日時：令和7年6月21日(土)13:00～17:00

会場：おだわら市民交流センターUMECO会議室1～3

【予定表】

発表順	開始	事業名	団体名等	ページ
第1部	—	13:00	あいさつ、説明	—
	1	13:05	素晴らしい絵本を広める会第10回公演 「宮沢賢治のお話と式町水晶さんのパイオリンと生き方が煌く世界」	素晴らしい絵本を広める会
	2	13:25	声で繋がる子どもと大人の「声の万華鏡」	声の万華鏡実行委員会
	3	13:45	竹あかりづくりワークショップと竹あかりイルミネーション	おだわら竹あかりプロジェクト
	4	14:05	地域清掃ボランティア事業	WADERS(ウェイダーズ)
	5	14:25	飲食イベント事業	夜市-小田原-
	6	14:45	「みんなの学校」上映会	めだかサロン
休憩				
第2部	—	15:15	あいさつ、説明	—
	7	15:20	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原周知セミナー	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原
	8	15:40	あらゆるケアする人をケアする「ケアラー支援」～本音と弱音が言える場づくり～	MilkyWay
	9	16:00	いじめのない社会へ「いじめストップ！ピンクシャツデー」事業	ピンクシャツデー小田原実行委員会
	10	16:20	フードバンク事業による生活困窮者の方々への支援(3)	NPO法人報徳食品支援センター
	11	16:40	乳がん啓発「ピンクリボン運動」を中心とするがん検診啓発事業	ピンクリボンぷらすODAWARA女性のがんを考える会／健康づくり課

※途中での入退場も可能です。

※各開始時刻は予定であり、状況により前後しますのでご注意ください。

様式第12号（第13条関係）

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業成果報告書

事業名	素晴らしい絵本を広める会 第10回公演 「宮沢賢治のお話と式町水晶さんのバイオリンと生き方が焔めく世界」
団体名	素晴らしい絵本を広める会
事業の内容	■事業名 素晴らしい絵本を広める会 第10回公演 「宮沢賢治のお話と式町水晶さんのバイオリンと生き方が焔めく世界」 ■日程 2025年2月16日（日） ■会場 小田原市民ホール 三の丸ホール 大ホール 1階 ■入場料 一般）2000円 U18）500円 未就学児）無料 ■内容 第1部）宮沢賢治作「セロ弾きのゴーシュ」「よだかの星」 音楽と読み語りの公演 小田原で活動するジュニア合奏団、合唱団と、朗読サークルが式町水晶さんと共演して宮沢賢治の名作を創り上げる 第2部）式町水晶さんのバイオリンと語りの公演 フィナーレは会場全員合唱
事業の成果	■未就学児から大人まで約650人を集客しました。 ■宮沢賢治の世界をテーマに、舞台のパフォーマンスを上演しました。紙芝居「よだかの星」、朗読劇「セロ弾きのゴーシュ」、歌唱「星めぐりの歌」ほか。 ■小田原の「子ども達が参加する音楽団体と共演しました。」 ・小田原ジュニア弦楽合奏団 ・小田原アクリア ・ODAWARAジュニアオペラ ■小田原在住のヴァイオリニスト／式町水晶さんのバイオリン演奏によるオリジナル作品の楽曲を、温かく心に響くトークとともに上演し、好評を博しました。
今後の事業展開	素晴らしい絵本を広く啓蒙するために、 ・公民館やホールでの主催公演を開催→R8年3月14日開催決定！ ・紙芝居演者の紙芝居講演会を開催 ・小田原市や市民活動団体で開催されるイベントにエントリー参加 ・近隣の市町などで活動する絵本関連のサークルと交流 ～音楽と一緒に絵本の読み聞かせ活動を通じて、未来を担う子ども達と、子ども達を囲む大人たちのためになる活動に、これからも取り組んでいきます～

様式第13号（第13条関係）

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

（単位：円）

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
入場料売上	1,068,000	一般@2000×511名、U18@500×92名、 ご招待券@0×67名
応援補助金	150,000	小田原市市民活動応援補助金 決定額
絵本の会拠出	41,870	ゴーシュ絵本、思いやりのお菓子 売上
収入合計	1,259,870	

2 支出の部

(単位:円)

科目	金額	内訳 (数量・単価など)・備考
会場使用料	221,225	前日夜仕込, 当日午前午後 (ホール, 控室, 付帯含む)
メインゲスト謝礼	200,000	式町水晶
共演ゲスト謝礼	20,000	ヴェールダンサー@尾崎美穂
共演団体指導料 (=謝礼金)	175,000	内訳) ・出演団体謝礼金: 129,000円 小田原シニア弦楽合奏団・ 小田原シニアクラリネット・ODAWARAシニアオペラ・菊池好江・ 木之枝穂太郎・茜・大川琢也・MISA ・会場スタッフ謝礼金: 46,000円 @5000×1名・ @3000×13名・@2000×1名
学生共演カット代	0	※指導料 (=謝礼金) に含みました
広告宣伝費	74,880	フライヤー、ポスター制作、広報誌掲載依頼
デザイン料	10,000	チラシ、ポスター、チケットデザイン料
印刷費	21,230	プログラム、チケット制作費
書籍使用著作権料	52,080	JASRAC、よだかの星 (童心社)
小中來場記念品	10,400	社会福祉法人パソ工房ハッピーラスク 50×200 個
技術費	69,000	PC操作技術料、ビデオ撮影・編集料
衣裳・小道具	6,134	演出者用ワイト@100(3本入)×180、学生衣装
手数料	28,195	チケット委託販売手数料
他、事務費	145,054	消耗品、旅費交通費、通信費、絵本代、弁当
返還金	150,000	小田原市応援補助金返還金
次年度繰越金	76,672	第10回 リクエスト公演費 ※次年度
支出合計	1,259,870	



令和6年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金交付事業

絵本の読み聞かせとバイオリン演奏

宮沢賢治のお話と、式町水晶のバイオリンと

生き方が煌めく世界

2025

2/16 SUN

小田原三の丸ホール大ホール

開場 12:30 開演 13:00



朗読とバイオリンを奏する式町水晶



プロジェクター上映 七色国語

プログラム

第一部

宮沢賢治の名作をプロジェクター投影で読み語り

第二部

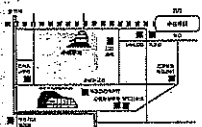
式町水晶さんのバイオリンと語り & 尾崎美穂さんのヴェールダンスのコラボ

チケット料金

全席自由 一般 2,000円 / 高校生以下 500円

チケット発売日

■小田原三の丸ホール窓口 ■ハルネ小田原街かど案内所 ■平井書店
■小田原三の丸ホール窓口 ■ハルネ小田原街かど案内所 ■平井書店



小田原三の丸ホール 大ホール
〒250-0001 小田原市小田原1丁目7-50

交通のご案内
新幹線：小田原駅南口徒歩10分、小田原駅北口徒歩15分
バス：小田原駅南口から徒歩10分、小田原駅北口から徒歩15分
車：小田原市役所から徒歩10分、小田原駅南口から徒歩15分

後援：小田原市 / 小田原市教育委員会

素晴らしい絵本を広める会

0465-43-2809(井上)

0465-43-0726(市地)

お問い合わせ時間 10時～18時

出演者



ポップヴァイオリニスト 式町水晶 (しきまちみずほ)

1996年北海道旭川生まれ。"個性まひ"と闘うヴァイオリニスト。東日本大震災の津波に耐えた陸前高田奇跡の一本松と被災地に残された瓦礫や家具を再利用して作られた「津波ヴァイオリン」を所持し演奏することを託されました。「障がい者と健常者の垣根を越え、より多くの人々に夢や希望を贈りたい」との思いで、被災地をはじめ全国各地で社会貢献活動を展開。コンサート、ライブ、各種講演会、楽曲制作を精力的に行っております。チャリティーコンサートでご支援いただき、陸前高田市に百万円、南三陸町五十万円を寄付させていただいております。2018年21歳でキングレコードよりメジャーデビューを果たし、2021年には東京パラリンピック閉会式での演奏を経験しています。また、

2023年8月17日には京都・清水寺にて世界平和祈願演奏を行いました。実現したいのは、「平和・公正な社会」。「人々の癒し、鼓舞する音楽を届けること」を使命に、「教育・福祉・防災」の3本柱で、学校訪問、人権イベント、消防イベント等で演奏・講演活動をしております。



ヴェールダンサーの 尾崎美穂
ヴェールダンスの創始者。クラシックバレエ歴30年。身体の中らぎから生まれる自由な動きに、自ら手探りで探る「ヴェール」を合わせたオリジナルダンス「ヴェールダンス」を考案し、高橋登壇。0歳から100歳まで同じ舞台に！をテーマに、唯一無二のありのままの美しさを引き出します。心身を解放し来場者の効果があります。



菊池好江
紙芝居を演じる会ひょうしき所長。紙芝居文化推進協議会会員。保育園、幼稚園、小学校等で公演。図書館、大学等で講座をする。紙芝居のグループとの他協会を行っている。著書「みて！きいて！わくわくするよ紙芝居」(学事出版)第7回右手香澤・和子賞受賞。



ODAWARA ジュニアオペラ
未来を担う子供たちへ芸術を！をモットーに、2020年8月に発足した子供のためのオペラ団体。子供たちが、音楽、声楽、バレエ、美術、衣装、ヘアメイク、演劇、文学などオペラに關する全ての文化・芸術を体験し、好きな事を見つけ探求していく。2021年第1回公演「星の王子さま」、2022年「カメメに飛ぶことを教えた猫」、2023年「モモ」、2024年「ねこはしる」を上演。2023年、第1回「星の王子さまミュージアム」にて「星の王子さま」を上演。オペラ「魔笛」、「ペンデルとグレート」、「夢の妙薬」、「魔弾の射手」、2024年9月ハルネ音楽祭「カルメン」に子供として出演。2025年8月「不思議の国のアリス」上演予定。



小田原ジュニア弦楽合奏団
1985年小学生から高校生までを対象に発足した弦楽合奏団。青少年が弦楽アンサンブルを通して音楽に親しみながら情操を高め、地域文化の向上の一助となることを目標に活動しています。20周年のドイツ、25周年のイタリア、30周年のハンガリーと海外公演も経験。2025年4月29日には第39回定期演奏会を三の丸ホール大ホールで開催します。



外郎売の口上研究会
歌舞伎十八番の内「外郎売」の口上を、小田原の文化の誇りとして広める活動をしています。小学校での読み聞かせや、声の万華鏡への出演等、絵本や紙芝居の朗読活動にも年間多数参加し、子ども達に笑顔を届けています。



小田原ジュニアクワイア
2024年1月に小田原で結成された新児童合唱団。第71回湘南合唱祭・招待合唱団特別演奏にてステージデビュー。10月小田原市合唱祭に参加。毎週日曜9時～12時、小1～高3までの歌が大好きな仲間が揃い小田原メダカのように元気に楽しく活動しています。



素晴らしい絵本を広める会

素晴らしい絵本は子どものみならず大人の心も震わせます。そのような沢山の絵本を、美しい絵本の映像やバイオリン演奏他音楽にのせて読み語ります。絵本の裏がりの中から、絵本作家長瀬ヒデ子さん、(2024年児童文化功労賞他受賞)、詩人アーサーバーナードさん、東京パラリンピックメインダンサー大前光市さん他を招聘し、小田原文化の広がりにも力を入れています。

第7回公演の様子 読者のダンサー大前光市さんをお招きして「ずずの兵隊」也

令和6年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金交付事業
素晴らしい絵本を広める会『第10回記念公演』

宮沢賢治のお話と、式町水晶のバイオリンと 生き方が煌めく世界

2025年2月16日(日) 小田原三の丸ホール大ホール

♪弦楽合奏：サウンド・オブ・ミュージック
小田原ジュニア弦楽合奏団

♪紙芝居「よだかの星」
演じ手/菊池好江

♪歌唱：星めぐりの歌
ODAWARA ジュニアオペラ

♪絵本と音楽の朗読劇：セロ弾きのゴーシュ

♪歌唱：冬の星座
小田原ジュニアクワイア

<休憩>

♪音楽と舞踏の協演
～風のままに／ロコマイカイ／メイオウ～
式町水晶 & 尾崎美穂

♪式町水晶のバイオリンと生き方が煌めく世界

[後援]

神奈川県教育委員会 小田原市 小田原市教育委員会

[協力]

小田原 SDGs 実行委員会会長原正樹 FM 小田原株式会社 株式会社タウンニュース社小田原支社
株式会社神静民報社 小田原市更生保護女性会 社会福祉法人明星会パン工房ハッピー
おだわら市民交流センターUMECO 小田原三の丸ホール
小田原三の丸ホール舞台スタッフ(株式会社東京美術)

ごあいさつ

本日は、「素晴らしい絵本を広める会」の第10回記念公演にご来場いただき誠にありがとうございます。後世に伝えていきたいと思える素晴らしい絵本を、音楽と共に朗読劇として上演してきました。絵本の読み聞かせの他に、毎回のようにステキなゲストをお迎えして、聴き手のお客様により楽しんでいただくように企画してまいりました。

今回は日本の童話文学の中で異彩を放つ国民的作家の宮沢賢治を採り上げたいと思います。小田原市の国語教科書にも収録されたことのある「よだかの星」、さらには多くの絵本やアニメ映画にもなっている名作「セロ弾きのゴーシュ」を、オリジナルの演出により上演いたします。小田原で活動する音楽団体の演奏も織り交ぜながら、宮沢賢治の世界を感じ取っていただけたら幸いです。

さらに、特別ゲストとして、ポップバイオリニストの式町水晶さんをお迎えしました。「生き方が煌めく世界」と題して、トークとオリジナル曲の演奏によるステージを展開いたします。こちらにも未来を担う子どもたちへ、そしてその子どもたちを守る大人たちへの愛情あふれたハートフルな内容となっております。どうか最後までごゆっくりご鑑賞くださいますよう、お願い申し上げます。

素晴らしい絵本を広める会代表/善波裕美子

宮沢賢治考

宮沢賢治(みやざわ けんじ、1896年8月27日-1933年9月21日)は、日本の詩人、童話作家です。仏教(法華経)信仰と農民生活に根ざした創作を行ったことはよく知られています。彼の作品は生前ほとんど一般には知られず無名に近く、没後、草野心平らの尽力により作品群が広く知られ、世評が急速に高まり国民的作家となっていました。今でも日本には広く愛好者が存在します。

日本の近代文学界でも特異な存在感を示す宮沢賢治作品を採り上げ、そのことを、「素晴らしい絵本を広める会」ではかねてより切望しておりました。第10回記念公演という節目の機会にトライいたします。



(1) 宮沢賢治作品の魅力

宮沢賢治の作品は、しばしば「子どもから大人まで心に響く物語」といわれます。子どもには子どもなりに、大人には大人なりに感じ入るころは違うでしょうし、人それぞれでしょう。それはつまり、宮沢賢治作品は、深い洞察を持って接することに耐えうるだけの精神的世界を含有している、ということに他ならないと筆者は考えます。宮沢賢治の作品すべてにそれを感じ取れるとはできません。しかしながら、独自の境地、人生をかけて切り開いたその道は、決して独りよがりな偏狭なものではなく、文壇での評価を超えて、時代を超えて多くの人の心に響きました。

宮沢賢治は、天文学に強い興味を抱いており、それが作品にも反映されています。「銀河鉄道の夜」はもちろん、今回取り上げる「よだかの星」においても、その一面を垣間見ることが出来ます。音楽についても同様で、チェロを手に入れ、練習していたことが知られております。その経

験が「セロ弾きのゴーシュ」の下敷きになっていることはいうまでもありません。このように、当時は先端とされる文化文明に興味を抱き、積極的に取り入れ、実践しようという向上心は、そのまま創作意欲に直結するのかもしれませんが。

(2) 宮沢賢治と音楽

筆者自身は、宮沢賢治はシューマンに似ていると思います。シューマンとはドイツ・ロマン派の作曲家であり、「セロ弾きのゴーシュ」のなかで、三毛猫がゴーシュに「シューマンのトロメライを弾いてみる」と要求するところで登場する、あのシューマンです。クラシックに限らず、音楽や歌は「愛」を表現しますがその表現の仕方は、もちろん作者によって様々です。

モーツァルトとシューマンというクラシック音楽の作曲家を比べてみます。モーツァルトが歌劇などで描く「愛」は世界中のだれもが共感できる愛、世界共通の「普遍的な愛」です。だから彼の描く「愛」は国境や世代を越えて愛されました。一方、シューマンの描く「愛」は、人間皆が共感するものでも普遍的なものでもなく、たった一人の女性、彼の最愛の妻であるクララ・シューマンのための「愛」です。シューマンの作品のほとんど全てが、妻への愛を音楽にしたものと言っていいかもしれません。シューマンの音楽はそういう音楽です。普通の人間がその妻のための音楽を作ったとしても、一般的には周囲には受け入れられず、偏狭で独りよがりの唾棄すべき作品であるという評価を得るにとどまるでしょう。シューマンの音楽は確かに独りよがりかもしれませんが、それは「天使のように美しい」。作品の持つ美しさが、すべてを飲み込んでしまう、征してしまう。彼の楽曲は、そんな切なくも可憐に美しく輝いているのだ、と筆者は思います。

宮沢賢治自身がどのように考えていたかはわかりませんが、独りよがり、あるいはマニアックともいえるこだわりの中で生み出された作品が、不思議と心に深く響きます。芸術の魔性というべきか、宮沢賢治とはそんな作家なのだと筆者は考えます。

(3) 宮沢賢治絵本の魅力

宮沢賢治の絵本は、もちろん宮沢賢治の作品に魅せられた絵本作家が手がけたものであり、宮沢賢治自身は絵本制作には一切関わっていません。ところが、それらの素晴らしい絵本たちは原作と同様に独特の世界観と深いメッセージで多くの人々を魅了しています。絵の持つ力が原作の力と相互作用し、読み手の想像力を刺激するようです。

絵本は本来、子どものためのものです。だから、子どもたちに伝えたい教訓としてどのようなことが物語に含まれているのか、といった視点で考えてみたいと思います。

- ★宮沢賢治は子どもたちに、夢や希望、そして困難に立ち向かう勇気を教えます。
- ★物語の中の冒険は、子どもたちに自分の世界を広げる勇気を与えます。
- ★登場するキャラクターたちは、困難を乗り越える姿を通じて、勇気を伝えています。
- ★賢治の教えは、子どもたちの日々の挑戦に寄り添うものです。
- ★絵本を通して、子どもたちは多様な価値観と向き合う機会を得られます。



ところが実は、大人も楽しめる哲学的要素を多く含んでもいると思います。

- ★宮沢賢治の絵本には、大人も楽しめる深い哲学的要素が散りばめられています。
- ★賢治の作品には、日常を超えたメッセージが込められています。
- ★大人にとっても、その深邃な物語は新たな発見をもたらします。
- ★物語の随所に見られるメタファーは、大人の心にも響きます。
- ★絵本から学ぶことは、年齢を問わずに無限に広がっています。

冒険心をくすぐったり友情をかみしめたり、勇気や思いやりを育む、といったものから、夢と現実が交差するファンタジー、生命観や宇宙観といった壮大なテーマまで、味わい尽くせないほどの世界を教えてくれます。

そんな世界への扉を、本日はご来場の皆さまと一緒に開いてみたいと思います。

(文・佐野真／素晴らしい絵本を広める会)

♪弦楽合奏：サウンド・オブ・ミュージック

<小田原ジュニア弦楽合奏団> 指揮：清祐介

1986年小学生から高校生までを対象に発足した弦楽合奏団。青少年が弦楽アンサンブルを通して音楽に親しみながら情操を高め、地域文化の向上の一助となることを目標に活動しています。20周年のドイツ、25周年のイタリア、30周年のハンガリーと海外公演も経験して2025年4月29日(火・祝)には第39回定期演奏会を三の丸ホール大ホールで開催します。



♪紙芝居「よだかの星」

童話「よだかの星」は、宮沢賢治の短編小説(童話)。1921年頃に執筆されたと考えられ、賢治の没年の翌年(1934年)に発表されました。

「よだか」は、美しい「はちすずめ」や「かわせみ」の兄でありながら、容姿がみにくく不格好なために鳥の仲間から嫌われています。鷹からも「たか」の名前を使うな、「市蔵」に変えると圧力をかけられます。そして、よだかは飛び去ります。そのときのよだかの心情はどのようなものだったでしょう。最後はどうなっていくのでしょうか。人間が生きていく上で大切なことを教えてくれる、いや、深く考えさせられる童話です。

今回は、「紙芝居 よだかの星」(作：国松俊英、絵：篠崎三朗、出版社：童心社)を用い、演じ手に菊池好江氏を迎え、上演いたします。



<菊池好江>

紙芝居を演じる会ひょうしぎ所属。紙芝居文化推進協議会会員。保育園、幼稚園、小学校等で公演。図書館、大学等で講座をする。紙芝居のグループとの勉強会を行っている。著書「みて！きいて！わくわくするよ紙芝居」（学事出版）第7回右手悟浄・和子賞受賞。



♪歌唱：星めぐりの歌

『星めぐりの歌』は、作詞作曲：宮沢賢治による星座を題材とした歌。歌詞は「銀河鉄道の夜」や「双子の星」などに登場する自身の詩が聞かれています。

2021年に開催された2020東京オリンピックでは、閉会式で聖火が消される直前のパフォーマンスで『星めぐりの歌』が歌われました。そのほか、2013年のNHK朝ドラマ「あまちゃん」サントラ版や、高畑勲監督のアニメ映画「セロ弾きのゴーシュ」オープニングでも『星めぐりの歌』が使われています。さらに、高倉健最後の主演作品となった映画「あなたへ」では、主人公の妻役を務めた田中裕子が『星めぐりの歌』を歌い上げています。レコードとしては、坂本龍一・矢野顕子の娘・坂本美雨や、高畑充希（みつき名義）、元ちとせ盤などが知られています。また、宮沢賢治の出身地である花巻市では、東北新幹線・新花巻駅到着時の車内チャイムや、金石線・新花巻駅のSL銀河が接近時から発車まで、『星めぐりの歌』のメロディが流れます。広く人気のある楽曲です。本日は、ODAWARA ジュニアオペラがピアノ奏者 MISA の伴奏で歌い上げます。

<ODAWARA ジュニアオペラ>

未来を担う子どもたちへ芸術を！をモットーに、2020年8月に発足した子供のためのオペラ団体。子どもたちが、音楽、声楽、パレエ、美術、衣裳、ヘアメイク、演劇、文学などオペラに纏わる全ての文化・芸術を体験し、好きな事を見つけ探求していく。人間の方である『感じる事』にじっくりと向き合い、それを表現するために自ら考え試し、他者と関わり合いながら成長していく場である。2021年第1回公演『星の王子さま』、2022年『カモメに飛ぶことを教えた猫』、2023年『モモ』、2024年『ねこはしる』を上演。2023年、箱根【星の王子さまミュージアム】にて『星の王子さま』を上演。オペラ『魔笛』『ヘンゼルとグレーテル』『愛の妙薬』『魔弾の射手』、2024年9月八ヶ岳音楽祭『カルメン』に子役として出演。2025年8月『不思議の国のアリス』上演予定。

<MISA>

幼少の頃からクラシックピアノを学び、後に、型にとらわれない自由な演奏に興味を持ち、ポピュラーピアノ指導者協会講師としてポピュラーピアノ教室を開講。その傍らラウンジプレーヤーとしてホテルラウンジ、レストラン、ライブハウスなどの各施設でソロ演奏からバンド演奏、歌声サロン伴奏など多岐にわたり活動中。



♪絵本と音楽の朗読劇：セロ弾きのゴーシュ

『セロ弾きのゴーシュ』は、宮沢賢治の童話。活動写真館の楽団に勤める技量の未熟なチェリストが、動物たちとの交流により演奏技術を向上させる姿を描いています。賢治が亡くなった翌年の1934年に発表されました。

賢治には、実際にチェロを練習した経験があります。賢治は農民の啓蒙と生活改善を目的とした「羅須地人協会」を主催していた時代に、農民楽団の実現と自作の詩に曲を付けて演奏することを目指して、1926年にチェロを購入、練習していました。これには当時賢治の親友で、花巻高等女学校（岩手県立花巻南高等学校の前身）の音楽教師であった藤原嘉藤治の影響も考えられています。1926年に上京した際には、新交響楽団（NHK交響楽団の前身）の楽士だった大津三郎の自宅に練習のために通ってみたいです。賢治は「三日でチェロを演奏できるようになりたい」と頼み、大津は困惑しながらもレッスンを引き受けました。またこのレッスンは1928年の上京時にも行われたのではないかという説があります。いずれにしても、チェロが三日で演奏できるようになるはずもなく、上達するはずありません。このことは賢治も自覚していたはずで、セロ弾きのゴーシュに自分の姿を投影していたことは、間違いないと思われます。

予備知識はこのくらいにしておきましょう。この宮沢賢治作品の「素晴らしい絵本」に私たちは出会いました。それが、今回の舞台で用いる『版画絵本 宮沢賢治』（文：宮沢賢治、画：佐藤国男、出版社：子どもの未来社）です。原作が人気作品であるだけに、非常にたくさんの絵本も出版されており、それぞれに素晴らしい作品であることは間違いないのですが、この絵本は特に私たちの心を惹きつけました。挿絵の全てが版画で描かれており、版画絵の持つ特徴である「色調のコントラスト」と「存在感を誇張する太い輪郭」が、主人公ゴーシュの心象と不思議なシンクロを示している様でもあります。ゴーシュの表情がいい。特に「眼」の描写が素敵です。これはステージに映し出される画像でもわかっていただけますが、ぜひ、実際に絵本を手にして見てほしいと思います。何度見ても何時間見ても見飽きることのない、「名作絵本」です。

<素晴らしい絵本を広める会>

素晴らしい絵本は子どものみならず大人の心も震わせます。そのような沢山の絵本を、美しい絵本の映像や音楽と共に読み語ります。絵本の繋がりの中から、絵本作家長野とデジさん（2024年児童文化功労賞他受賞）、詩人アーサー・ビナードさん、東京パラリンピックメインダンサー大前光市さん他を招聘し、小田原文化の広がりにも力を入れています。今回は、ゲストテラーに木之枝樺太郎氏を迎え（「楽長」役）ます。

<木之枝樺太郎>

神奈川県横浜市在住。劇団ひまわり出身。Theater Company 夜明け所属。俳優、舞台監督、美術家、演出家、時々トロンボーン奏者やオペラ歌手など舞台芸術に関わる幅広い仕事で横浜を中心に活動中。



<キャスト>

ゴーシュ／普波苗
猫／野地節子
かっこう／井上眞理子
子だぬき／岩田真由美
母ねずみ／石塚満理子
子ねずみ／成瀬みずき
楽長／木之枝樺太郎
語り／素晴らしい絵本を広める会
バイオリン&ピアノ／佐野真



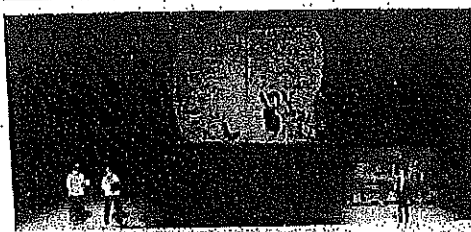
この度のとっても素晴らしい舞台、『生き方が煌めく世界』に携わらせて頂きました事に心から深く感謝申し上げます！そしてまた、小田原は、僕自身、住まわせて頂いている大好きな場所。その場所で舞台に共に出演なさっている方々、この企画にご協力して頂いている方々、そして何よりこの会場にお越し下さいましたお客様、そのようなとっても素敵な皆様と舞台空間を共有させて頂ける事に、非常に大きな喜びを感じております！また僕自身『絵本』の世界、そして『宮

本日の公演の開催にあたり、瀬戸義昭さん、善波まどかさん、篠島栗さん、平出隆さん各氏には特に多大なご協力とご尽力を賜りました。深く感謝申し上げます。素晴らしい絵本を広める会メンバー一同

ありがとうございました

2025年2月16日（日）開催の「素晴らしい絵本を広める会 第10回記念公演」におきまして、ご協賛・ご後援・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。皆様の応援のおかげで、小田原三の丸ホールの大ホールにて、1階席ほぼ満席のお客様。大成功のうちに終演いたしましたことをあらためてご報告申し上げます。会場の5分の1が子ども達という素晴らしい公演でした。皆様ありがとうございました！

- ・宮沢賢治作品にがっつりと取り組んだ前半プログラム
 - ・小田原の子ども達が参加する音楽団体との共演
 - ・脳性麻痺と闘うプロヴァイオリニスト式町水晶さんによるトークとヴァイオリン演奏
 - ・会場の皆様全員による「いのちの歌」熱唱！思い出深いひと時となったことと思います。
- タウンニュース様に掲載されました記事、及び小田原市HPカラフル3月版に取り上げられました式町水晶さんの番組の紹介を添付いたします。どうぞ併せてご覧くださいませ。これからも「素晴らしい絵本を広める会」では、皆様の心に訴えかけるようなイベントを開催していきます。どうぞお楽しみに！



「素晴らしい絵本」に感動

小田原を中心に活動する「素晴らしい絵本を広める会」の第10回記念公演が2月16日、小田原三の丸ホールで開催された。満員の観客が詰めかけた会場では、宮沢賢治の作品をスクリーンに映しながらの読み聞かせ、写真や、バイオリンスト・式町水晶さんの津波

バイオリンによる「見上げてごらん夜の星を」の演奏などが披露された。出演者も心から感動し、涙しました。出演したジュニアたちも、式町さんと同じ舞台上に立てた感動は、明日からの毎日が輝く元気をもらえたと思います」と振り返った。

小田原市広報番組「colorful」

小田原市公式チャンネル

再生リスト・45本の動画・2052回視聴

小田原の自然、歴史、産業など多彩な資源を活用しながら、新しい事業や活動をする人などを紹介する番組で...さらに表示

すべて再生

素晴らしい絵本を広める会 代表 善波裕美子

Works ～素晴らしい絵本を広める会



式町水晶さんと記念撮影



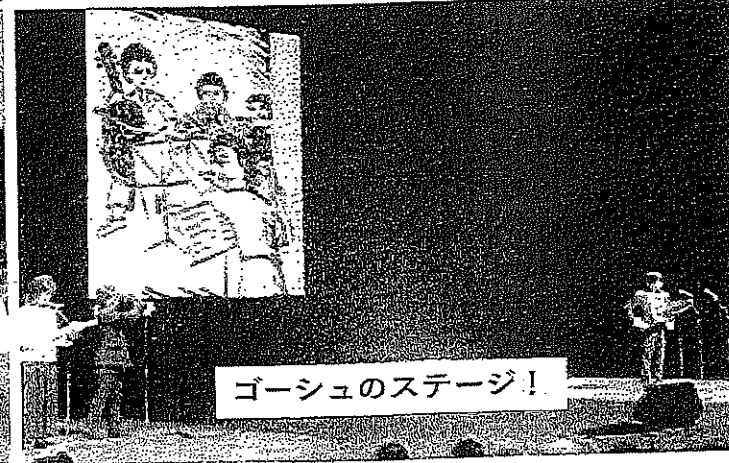
ゴーシュ劇中での
小田原ジュニア弦楽合奏団



最後は出演者全員&お客様で「いのちの歌」を熱唱！



善波苗(ゴーシュ役)と
木之枝棒太郎(楽長役)



ゴーシュのステージ！

お客様の声

- ・宮沢賢治の世界は深い！
- ・ゴーシュお芝居が良かった。
- ・式町水晶さんのお話&ヴァイオリンが素敵。
- ・また企画してください。
- ・式町さんと共演できた子どもたちは幸せ！
- ・感動しました。
- ・最後の合唱「いのちの歌」で泣いた。

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業成果報告書

事業名	声で繋がる子どもと大人の「声の万華鏡」
団体名	声の万華鏡実行委員会
事業の内容	①事業名「子どもの声の万華鏡～楽しい音読～」の開催 1. <u>子どもの音読発表会</u> ・R6年8月3日第3回大会 10名 R7年3月9日第4回 12名 2. <u>子どもの音読 寺子屋他</u> ・R6年4月10名 5月8名 6月5名 7月8名 10月10名 11月4名 12月7名 1月8名 2月9名 計69名 ・9月7日 トライアルえんにち 市役所前庭 5団体協働 ②事業名 「第9回声の万華鏡～声を揺さぶる感動の舞台～」開催 11月2日 小田原三の丸ホール 子ども音読7名 手話と演奏6名 朗読劇7名 計20名 大人18 演目80名出演 観客市内外から250名
事業の成果	1. 事業「子どもの声の万華鏡」の成果 ①2年目を迎え、「楽しい音読」が定着し、遊びながら、自ら好きな本の選書をして音読。更に童話「ヘンゼルとグレーテル」を朗読劇で読み合い、仲間意識ができた。 ②個々の子どもに合わせたペースで、夫々の変化を実感している。 2. 事業「第9回声の万華鏡」の成果 大人の演目は個性豊かでバラエティーに富んだ舞台公演となった。 子ども達も元気に音読し、思い出に残る大きな経験となった。
今後の事業展開	子どもの万華鏡 ～新たな展開で地域の中へ～ ①新たな出前講座を、地域自治会子ども会と連携して行う事で三世代が豊かに交流できるまちづくり活動の一助とする。 ②毎月の音読寺子屋、8月・3月の音読発表会、第10回声の万華鏡の参加は、更に参加者を募り、親子朗読を推進しつつ継続する。



様式第13号(第13条関係)

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
1. 補助金	200,000	R6年度市民活動・協働応援制度補助金
2. 事業①「子どもの声の万華鏡」参加料	7,614	参加費4,200 テキスト代他3,414
3. 事業②「第9回声の万華鏡」出演料	132,700	出演料130,000 譜面台使用2700
4. 自己資金	767	
収入合計	341,081	

2 支出の部

(単位:円)

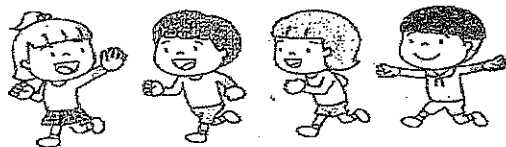
科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
1. 事業① 子どもの声の万華鏡		
会場使用料	23,450	UMECO会議室4回、ロッカー代他
消耗品費	21,645	事務文具、コピー代等
出張公演交通費	1,680	ガソリン代等
印刷製本代	24,258	チラシ20,213 コピー4,045
広報・通信運搬費	45,436	HP制作42,066 駐車代2850 郵送代他520
2. 事業② 第10回声の万華鏡		
消耗品費	13,401	コピー6145 文具他7,256
謝礼	20,000	朗読演奏10000 PC操作10,000
会議室使用料	8,700	UMECO会議室4800 駐車代他3,900
備品購入費	2,810	芝居備品700 シート他2,110
会場使用料	134,800	第9回使用料
印刷製本費	28,077	印刷代10,924 コピー代8,015 文具他9,138
通信運搬費	1,824	郵送代1,324 ガソリン代500
	15,000	補助金返還金
支出合計	341,081	

令和6年度小田原市市民活動応援補助金事業

声の万華鏡実行委員会

れいわ6年5月11日
三の丸小学校体育館

みんなで音読おはなし会



しかい しいののりこ

1. 発声練習

「みんなで声出し」

「外郎売の口上」

しいののりこ

おおたまさえ

2. 紙芝居

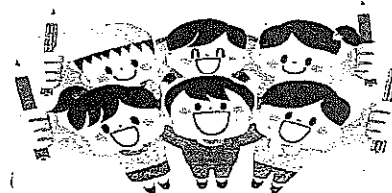
「いなむらの火を消すな」

3. らくごのおなはし

きらくていしょうせい

令和6年度小田原市市民活動応援補助金事業

あつまれ!



声の万華鏡の大好きな小中学生

声の万華鏡実行委員会が目指すことは、みんなが自分を好きでいられる社会です。コミュニケーションが希薄な中で、文学に親しみ声を出すことにより、自分の気持ちを相手に伝えられる。大きな声であいさつができると自分に自信がつく。声の万華鏡実行委員会では、子どもたちに色々なことを体験してもらい、明るく楽しい会話ができることを期待しています。その中で表現方法が豊かになり、人と人の心が繋がります。

笑顔のかわいい子どもたちに乾杯!!

寺小屋 無料

- 募集開始 3月16日(土)
- 練習場所 寺小屋 大長院(寺町)駐車場あり 電話 090-3427-4567(小早川)
(位置情報用 小田原市弱町1-12-27)
- 練習日時 4/28(日) 済 5/26(日) 6/23(日) 7/28(日) 原則第4日曜日
時間 10:00~11:30
- 講師 声の万華鏡実行委員会
- テキスト 蔭山英男著「徹底反復 音読プリント 持参本(自分で読みたい本)」
- 発表会 **2024年8月3日(土)** (UMECO:市民交流センター 会議室2・3)
- プログラム 当日配布
- 後援 小田原市
小田原市教育委員会
- 主催 声の万華鏡実行委員会 連絡先 椎野 (090-6303-0861)

メールもOKです

ntr8088@nifty.com



声の万華鏡
ホームページ

参加者お名前	学年(小、中学)	保護者氏名	連絡先

「第三回本の世界へ一緒に行こう」プログラム

子どもの音読発表会

日時 令和6年8月3日(土)10時半から12時半

会場 おだわら市民交流センター(会議室2~3)

- ☆ 始めの言葉 本多 博(実行委員長)
- ☆ 発声練習(みんなて楽しく声出して) 太田 雅江
- ① 絵本(あめ上がりのやさしいあはけ) (小学2年)
- ② バイオリン演奏(きらきら星変奏曲) (小学5年)
- ③ 絵本(みんな) (小学1年)
- ④ グリム童話(王様をほしがるカエル) (小学5年)
- ⑤ みんなで手話と歌(手話の歌)
- ⑥ 絵本(あめ上がりのやさしいあはけ) (小学4年)
- ⑦ 絵本(おとぎ話) (小学1年)
- ⑧ 絵本(きょうはなんのひ) (小学3年)
- ⑨ 絵本(いてもちってち) (小学5年)
- ⑩ 絵本(くまのしゅげいせん) (小学5年)
- ⑪ 絵本(くまのたろうちゃん)
- ☆ 終わりの言葉

場所 小田原市役所前広場

今年もやってきた!

トライアル

えんにち

9.7 土

11:00~14:00

雨天決行

キッチンカーも来るよ!

レジャーシートを持ってきて、
ピクニック気分♪

出店者情報などは、Instagram、Facebookをご覧ください♪

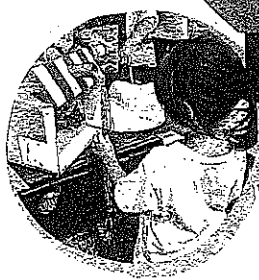
主催:トライアルえんにち実行委員会
共催:声の万華鏡実行委員会
後援:小田原市教育委員会



Facebook



@TRIAL_ENNICH



あつまれ

音読の大好きな小中学生

声の万華鏡実行委員会が目指すことは、みんなが自分を好きでいられる社会です。
コミュニケーションが希薄な中で、文学に親しみ声を出すことにより、自分の気持ちを相手に伝えられる。大きな声であいさつができると自分に自信がつく。
子どもたちに色々なことを体験してもらい明るく楽しい会話ができることを期待しています。

- 募集開始 9月23日(月) から
- 練習場所 大長院(寺町)駐車場あり 電話 090-3427-4567(小早川)
おだわら市民交流センターUMECO

3. 練習日時

日時	会場(内容)	日時	会場(内容)
10/20(日)	UMECO (発声練習 朗読 遊び)	11/17(日)	大長院 (発声練習 朗読 遊び)
12/22(日)	UMECO クリスマス会(おたのしみ)	1/26(日)	UMECO (新年会(かるたとり、ほか))
2/23(日)	大長院 (発声練習 朗読 ほか)	3月	未定

- 講師 声の万華鏡実行委員会
- テキスト 陸山 英男著「徹底反復 音読 プリント」澤地朋子作「くまのたろうちゃん」
又は、持参本(自分で読みたい本)
- 発表会 2025年3月9日(日)10:00~12:30
(UMECO:市民交流センター 会議室1・2)
- プログラム 当日配布

主催 声の万華鏡実行委員会 連絡先 椎野 (090-6303-0861)

参加者お名前	学年(小、中学)	保護者氏名	連絡先

万華鏡実行委員会ではスタッフ募集中です

お問い合わせは本多 (090-1127-8401)

おんどく こ まんげきょう
音読・子どもの声の万華鏡

声の万華鏡 HP

2024年10月20日

うめこかいぎしつ
ウメコ会議室6

こま まんげきょう
声の万華鏡実行委員会



ほんじつ
本日のプログラム

10時	1	はじめに	あいさつ	こばやかわ 小早川	
10時03分	2	はっせいけんしゅう 発声練習	みんなで声出し だいほん ぶ 台本を読もう3 くまのたろうちゃん	しいの 椎野 あきた 太田	おとささんか 大人参加
10時25分	3	らくご 落語	たの お楽しみ	やまの 山田	
10時45分	4	きゅうけい 休憩	おやつタイム		
10時55分	5	おんどく 音読	じさんほんおんどく 持参本音読	みづの 三浦	
11時25分	6	おわりに	あいさつ れんらくじこう 連絡事項	ほんだ 本多	

※第4回「本の世界へ一緒に」開催日 2025年3月2日(日) UMECO会議室 10:30~12:30

参加者募集中

* 万華鏡実行委員会ではスタッフ募集中です。
お問い合わせは本多(090-1127-8401)又は実行委員まで

第9回 声の万華鏡

☆発声練習 ☆語りと寸劇
 ☆音楽とお話 ☆朗読劇
 ☆音読 ☆朗読 ☆詩吟
 ☆落語 ☆講談
 ☆語りとパフォーマンス

月日：令和6年11月2日(土)10時～16時
 会場：山田原三の丸ホール(山ホール)
 主催：声の万華鏡実行委員会
 後援：山田原市 山田原市教育委員会



声の万華鏡HP

令和6年度小田原市市民活動応援補助金事業

おんどくこ まんげきょうくらぶ
 音読子ども万華鏡クラブ



声の万華鏡HP

2024年11月17日

大長院

声の万華鏡実行委員会



本日のプログラム

10時	1	はじめに	あいさつ	小早川	
10時03分	2	発声練習	みんなで声出し 台本を読もう4 くまのたろうちゃん	太田 澤地	大人参加 ウメコ祭り 練習
10時25分	3	落語	お楽しみ	山田	
10時45分	4	休憩	おやつタイム		
10時55分	5	音読	じさん ぼん おんどく 持参本音読	太田・澤地	
11時25分	6	おわりに	あいさつ 連絡事項	本多	

※第4回「本の世界へ一緒に行こう」開催日 2025年3月9日(日) 10:00～12:30
 UMECO会議室1・2 参加者募集中

*万華鏡実行委員会ではスタッフ募集中です。
 お問い合わせは本多(090-1127-8401)又は実行委員まで

Umeco 祭りご案内

11月24日(日) UMECO祭り (本番)

集合時間 24日 12:00 交流エリア側(出演者控コーナ)

10:00~UMECD祭り 開催

活動エリア(事務コーナ前 フロワー全体)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 大正琴愛好会「花」, | 10:00~10:20 |
| 6. サンサンひまわり | 11:40~12:00 |
| 7. 外郎売口上研究会、 | 12:00~12:20 |

8. 声の万華鏡実行委員会 12:20~12:40

9. 素晴らしい絵本を広める会 12:40~13:00

*司会役()

- ・次の演目「9. 素晴らしい絵本を広める会」アナウンス
- ・「めくり」を代える。

*始める前の紹介役()

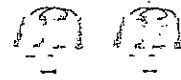
- ・私たちは、音読子ども万華鏡クラブです。
- みんなで くまのたろうちゃん を よみます!

*タイムキーパー役()

- ・演目⑥サンサンひまわり 5分前1分前

以上

今年も、みんなにとって
最高の年になるよ。



それはね、声を出して話せるから
自分の思いを誰かに伝えよう それが音読。
「本の世界へ一緒に行こうー」

第4回子どもの音読会

日時 令和7年3月9日(日) 10時から

場所 おだわら市民交流センター(UMECO)

誰でも参加できます。あなたも!

音読ってなーに?

それはね、◎あなたが今考えていること、お話ししたいことを話す

◎紙芝居を読む ◎好きな本を読む ◎民話を話す

◎音楽(好きな楽器)に合わせてお話ししたり踊ったりする

まだまだ、いっぱいあるよ。声を出すことにより君の心がすっきりする
からみんなでやってみようよう。まず、来てみてね。



企画・運営 声の万華鏡実行委員会(UMECO登録団体)
申し込み 本多(090-1127-8401) 椎野(090-6303-0861)

「第4回本の世界へ一緒に行こう」プログラム 子どもの音読発表会



日時 令和7年3月9日(日) 10時～12時半
会場 おだわら市民交流センターUMECO会議室1・2
主催 声の万華鏡実行委員会

司会 椎野典子

番号	名前	学年	出し物	みんなで音読
☆	本多 博	はじめのことば		
☆	太田雅江	発声練習 (みんなで楽しく声出して)		
1		5年	絵本「おふくさん」	魔女
2		1年	「しょくばんにんじゃ」	ナレーション 後半
3		1年	「ずっとずっと大好きだよ」	
4		5年	民話の語り「はだか稲荷さん」	
5		1年	「ドアをあけたら、海のおうち」	ナレーション 前半
6		3年	「ちいちゃんのかげおくり」	
7		5年	民話の語り「赤坂の袖切神」	
	休憩			
8		2年	絵本「ロボット」	お母さん
9		年少	絵本「あじたはクリスマス」	お父さん
10		3年	「モチモチの木」	
11		学生	「赤ずきん」	グレーテル
12		5年	民話の語り「清左衛門地獄」	
13		5年	「大造じいさんとガン」	ヘンゼル
14	みんなで音読		「ヘンゼルとグレーテル」	
☆	椎野典子	終りのことば		

様式第12号（第13条関係）

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業成果報告書

事業名	竹あかりづくりワークショップと竹明かりイルミネーション
団体名	おだわら竹あかりプロジェクト
事業の内容	竹あかりを使ったワークショップ（竹を切り、穴をあける体験）を開催し、地域の環境課題（竹害）へ関心を向けってもらうきっかけづくりの場を設けるとともに、令和6年6月に開催予定の「小田原城あじさい花菖蒲まつり」をはじめとする市内外のイベントと協働し、竹あかりを使ったイルミネーションイベントで、認知度や関係人口の向上を図る。
事業の成果	R6年4月1日～令和7年3月26日 会場生涯学習センターけやき ・竹あかり製作ワークショップの開催 参加者 70名 R6年6月8日 ・小田原城址公園「あじさい花菖蒲まつり」イルミネーション展示 見学者およそ500人 ワークショップ参加者 70名 R6年7月6日 ・企業研修でのワークショップの実施 参加者 20名 R6年11月9日 ・小田原市久野欠ノ上の棚田における点灯。見学者100名 ワークショップ参加者20名 R6年12月1日 ・大雄山最乗寺でのイルミネーション展示 R7年2月9日 当プロジェクトは、循環型社会を目指し、伐採→加工→展示→竹炭製造→販売までを一貫して行う事業を目指している。当日は竹炭製造の実験燃焼を行った。 以上の活動を通じて、竹害問題を多くの方に認知して頂けたとともに、「関係人口の増加」という目的も達成できたと考えている。
今後の事業展開	・小田原城での竹明かり展示は、令和4年から開始し令和6年までの3年間継続してきたが、見学者・ワークショップ参加者・協力者が徐々に増加してきていることを踏まえ、令和7年度も実施する考えである。 ・久野自治会様から町内の活性化につなげたいので、令和7年度以降も開催して欲しいという依頼を受けている。棚田への展示に関しては、久野小学校・市内の大学・高校生に参加頂ける旨の話が進んできている。こうした動きをチャンスと捉え、竹明かり展示及びワークショップを介して、多くの若者が楽しみながら小田原の環境問題に関心を寄せてもらえる場としていきたい。 ・さまざまな機会を通じて寄付金を募り、経済的自立を図っていききたいと考えている。

様式第13号（第13条関係）

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位：円)

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
事業収入	90,000	令和6年4月1日から令和7年3月31日 竹灯籠作り 1個500円×100個 他竹細工 1000円×40個
補助金	200,000	小田原市市民活動・協働応援制度補助金
自己資金	2,835	
収入合計	292,835	

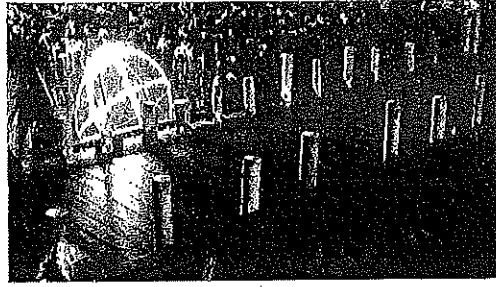
2 支出の部

(単位：円)

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
消耗品	246,874	事業実施のためのドリルビット、展示用板、LEDキャンドル他
印刷費	28,361	PRチラシ印刷 600枚
会場費	17,600	けやき他
	292,835	



小田原城でのイベント風景 1
ワークショップ風景



小田原城でのイベント風景 2
展示風景



某企業社員研修 1
ワークショップ風景



某企業社員研修 2
集合写真



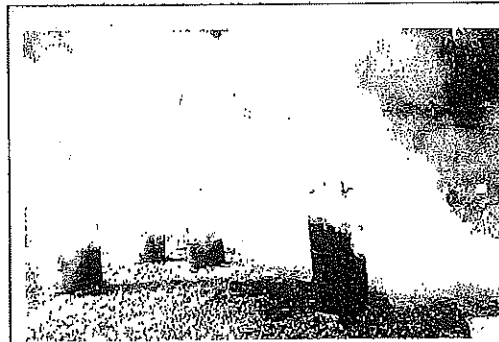
久野の棚田 作業風景 1



久野の棚田展示風景 2



竹材倉庫前にての炭づくり 1



竹材倉庫前にての炭づくり 2

竹あかり製作講座

おだわら竹あかりプロジェクト

受講生募集

私たちは、小田原市および近郊の荒廃竹林の活用・整備を進めている。
整備の過程で排出する竹材の有効活用の一環として、竹あかり製作講座を開催し、市民内外から関心のある方々に、竹あかりの魅力を伝え、癒しの空間づくりを行っている。

講座内容

荒廃竹林をはじめ地域の環境問題を学ぶ／竹を加工するうえで必要な道具の種類や扱い方を学ぶ／
野外での荒廃竹林整備に参加／各イベントへの出店／竹あかりオリジナルデザイン画の作成他

開催場所

小田原市生涯学習センターけやき他

主な講座内容

竹の切り出し／イベント出展／野外での活動

開催日時

毎月第4土曜日

初回参加の方

13:00~16:00

2回目以降参加の方

13:30~16:00

諸事情により開催日が変更となるため了承願いたい。事前の予約が必要。

開催前日午後3時まで。

参加費

500円（材料実費）収益の一部は、竹林の再生及び保全に充当する。

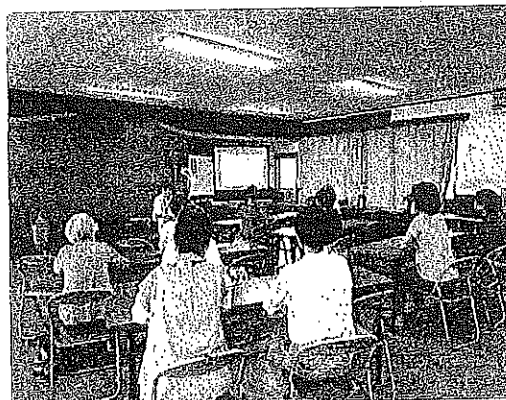
令和6年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金交付事業

問い合わせ先

小田原竹あかりプロジェクト 事務局（たかとう）090-1252-7562

事業名	地域清掃ボランティア
団体名	ウェイダース
事業の内容	【清掃活動】 2024.4.13 狩川飯田岡駅付近 メンバー4名、Jr6名、一般2名 6.1 久野川清掃に参加 メンバー1名 6.16 アリーナ横水路 メンバー5名、Jr2名、一般5名 7.21 狩川養護学校付近 メンバー6名、Jr2名、一般2名 8.18 東富水タウングリーン メンバー4名、Jr1名、一般1名 9.15 狩川山道橋上流 メンバー3名、一般1名 10.20 狩川飯田岡駅付近 メンバー3名、Jr1名、一般1名 11.17 仙了川菜種橋付近、狩川飯田岡駅付近 メンバー3名 12.15 狩川養護学校付近 メンバー4名、Jr2名 2025.1.19 酒匂川左岸富士道橋上流 メンバー4名、Jr4名、一般10名 2.16 森戸川JR国府津電車区付近 メンバー6名、JR職員5名、一般3名 3.2 狩川クリーン作戦に参加 メンバー4名、Jr2名、一般2名 3.23 森戸川富士見橋～親木橋 メンバー3名、一般10名 【フェスタ】 2024.6.9 中曽根公民館 フェスタ開催 10.19 富水連合自治会「ワイワイフェスタ」参加 11.24 「UMECO祭り」参加 2025.3.1 「おだわらつながるマルシェ」参加 3.8 「かなごて流域祭」参加 3.9 包括支援センターとみず フェスタ開催 【講座】 2024.10.6 「予祝会」開催 小田原市環境政策課と神奈川県自然環境保全センターの出前講座を受講
事業の成果	・フェスタや他団体の催しものに出店し、話すことができた方とSNSを通してつながることができ、清掃活動の情報を伝えることができた。 ・活動の様子を詳しく掲載したチラシを配ることで、より活動への理解が深まったと感じた。 ・上記によって、LINEオープンチャット登録人数が増えてきたこともあり、清掃活動への一般参加者が増えてきた。 ・ボランティア参加証明の「まごころカード」を発行した。

	・ごみ問題を自分ごととしてもらうために、「環境レスキューワークショップ」を考案。折本制作と海洋プラ採取の二本立て。 オリジナルの折本ハンドブックを作成し、それを参加者の方に作ってもらいながらお話をしていく。近くの海岸の砂から海洋プラスチックごみの収集体験をしてもらう。どちらもごみについての会話を通してわたしたちの活動の意味をお伝えするきっかけにし、興味関心を持ってもらうことができた。 ・JR東日本国府津車両センターの方が、社会貢献の一環で川掃除に参加したいと市役所に相談。当団体を紹介していただき、一緒に活動することが実現。活動が広まってきたと感じた。
今後の事業展開	・引き続き同様の川掃除やフェスタなどを通してわたしたちの活動情報を発信し、各地域で活動する人を増やしていきたい。関心を持った方のお住まいの地域へ遠征も可能とし、一緒に清掃活動して普及エリアを広げたい。 ・「環境レスキューワークショップ」は、大人も子どもも、本当の意味でのプラスチックごみ問題について考えるきっかけとなるため、フェスタだけでなく、出前講座や出張講座なども検討し広めていきたい。 ・まごころカードの存在を伝え、環境教育、社会貢献の大切さも伝えたい。



様式第13号 (第13条関係)

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

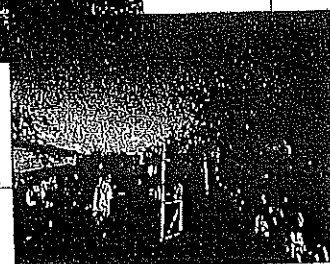
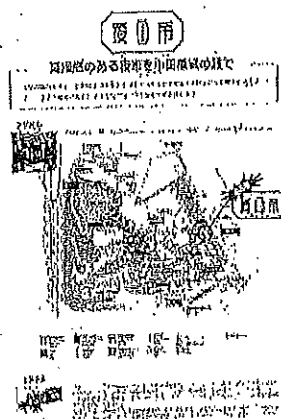
科目	金額	内訳 (数量・単価など)・備考
小田原市市民活動・協働応援制度補助金	100,000	
自己資金	96	
収入合計	100,096	

2 支出の部

(単位:円)

科目	金額	内訳 (数量・単価など)・備考
1. 川掃除		
・ 広告用パンフ	3,130	A6サイズ折パンフレット 300部
・ 備品購入費	2,178	両刃中厚鎌180cm 1
	2,728	刈込鋏 1
	26,840	充電式草刈り機 (バッテリー、充電器含む) 1
	1,408	防震手袋 1
	1,628	剪定鋏 1
	4,434	手袋 S,M,L、クラフトテープ
	13,565	ライフジャケット 5
	3,990	伸縮たも
	1,214	ベルト用金具
	3,274	のぼり
	9,427	鉄板ポール台2、のぼり用ステンレスポール3
	7,500	ウェイダー
地域フェスタ	3,000	9/25 中曽根公民館使用料
	500	3/1 つながるマルシェ 出店料
ボランティア保険	7,280	13回分 (川掃除、草刈り、フェス)
返金	8,000	補助金返還金
支出合計	100,096	

事業名	飲食イベント事業								
団体名	夜市-小田原-								
事業の内容	小田原城周辺で飲食を楽しむ「夜市（よいち）」を開催し、小田原ならではのまちなかの暮らしの楽しさ、歴史・文化・景観の素晴らしさを小田原市民や来訪者と共に味わう。活動を通し、特に普段城址周辺で多くは見かけない若者も含め、参加する人々の地域への愛着を醸成するとともに、定期的な開催によるQOLの向上を目指す。 【実施時期】 2024年5月26日 15:00～21:00 【場所】 小田原城址公園周辺 馬出門前広場 【出店舗数】 6店舗（内1店舗は新規出店枠） 【店舗参加費】 3,000円/店舗								
事業の成果	当初想定していた来場者数は200人程度だったが、それを大きく上回り約500人となり、フード・ドリンクともに売切れとなった。事業内容記載の目的は十分果たした結果となった。 【来場者数】 約500人 【売上・その他数量】 <table> <tr> <td>全店舗総売上</td><td>約820,000円（フード・ドリンク・衣類販売売上を含む）</td></tr> <tr> <td>販売食数</td><td>約440食</td></tr> <tr> <td>販売ドリンク数</td><td>約510杯</td></tr> <tr> <td>衣類販売</td><td>約10着</td></tr> </table>	全店舗総売上	約820,000円（フード・ドリンク・衣類販売売上を含む）	販売食数	約440食	販売ドリンク数	約510杯	衣類販売	約10着
全店舗総売上	約820,000円（フード・ドリンク・衣類販売売上を含む）								
販売食数	約440食								
販売ドリンク数	約510杯								
衣類販売	約10着								
今後の事業展開	「夜市-小田原-」の認知度を上げ、地域に定着させる事を目的に定期的な開催を目指す。将来的には普段城址公園周辺で見かけない若者等に地域への愛着を醸成させる。また事業として継続性を持たせる為に、イベント自身の収入を増やすシステムを構築する。								



様式第13号（第13条関係）

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

（単位：円）

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
店舗参加費	12,000	3,000 円/店 × 4 店舗
自己資金	176	
補助金	100,000	
収入合計	112,176	

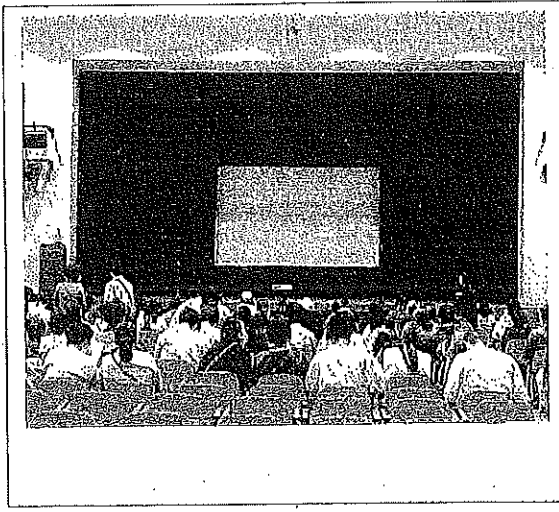
2 支出の部

（単位：円）

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
1. 第1回夜市		
場所使用料	0	城址公園馬出門前広場を利用した
印刷費	5,204	ポスター・フライヤー印刷代
消耗品等	1,502	ゴミ袋・使捨て手袋等
材料・備品購入	98,900	ストリングライト・提灯・装飾品・ボール・ライトスタンド等（別紙リスト参照）
イベント保険料	6,570	賠償責任保険および運営人傷害保険
支出合計	112,176	

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業成果報告

事業名	「みんなの学校」上映会 2024年11月4日
団体名	めだかサロン
事業の内容	ドキュメンタリー映画「みんなの学校」自主上映会開催
事業の成果	子ども主体の学校を作ってきた大阪・大空小学校のドキュメンタリー映画を鑑賞する上映会を開催。参加者200人中70人からのアンケートの回答あり添付いたします。(Instagramで公開) 2022年9月国連・障害者権利委員会が日本政府に対して障害者権利条約の履行状況について総括所見を発表、その中で特別支援教育の中止を勧告したことに強烈な衝撃を受けた事から地域住民として何ができるかの問いを映画の内容を通じて参加者たちに伝わったとアンケートから分かります。 大空小学校について地域の皆さんと情報を共有し、子どもが本来持つ個性を伸ばせる、そして地域住民が自分たちの学校として学校に関わる活動のスタートにしたい目的です。上映会後希望者とzoom会(8人)にて感想座談会を開催(12月21日)映画の感想とインクルーシブ教育等について意見交換をした。
今後の事業転換	地域住民ができる学校を応援する関わり方を教育委員会との意見交換会なども実施しながら検討していきたい。また来年は「障害の人権モデル」について学習会を開催する。 2025年2月1日は三の丸ホールにて「夢みる校長先生」上映会があり、映画出演の先生が登壇するトークリレーに大澤が参加予定。



様式第13号(第13条関係)

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
補助金	100,000	小田原市市民活動・協働応援制度補助金
チケット代	78,000	500円×156人(大人)
自己資金	390	(招待ボランティア12人 子ども無料32人)
収入合計	178,390	

2 支出の部

(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
基本上映料金	66,240	11月4日DVD代
チラシ・ポスター費	22,740	チラシ2000枚B2:1枚300円×2枚
会場料金 (設備使用料含む)	32,200	7月試写と11月4日 けやきホール 照明、マイク
機材レンタル費	30,000	プロジェクター DVDプレーヤー
消耗品費他	11,670	用紙、ペンシル、テープ他
郵送費	4540	チラシ郵送、DVD返却
	11,000	補助金返還金
	178,390	

“めだかサロン”よりごあいさつ

2024 年 11 月 4 日

本日は『みんなの学校』上映会に参加いただきありがとうございます。
“めだかサロン”は小田原市を拠点に 15 年前より活動をしてきた市民グループです。
その目的は「神奈川県西部のすべての子どもたちに、発達の為の支援がもっと必要」と考え、活動することでした。『すべての子どもたち』とは、障害の有無やその内容にも関わらず、又年齢にも関係なく、子育てや発達に支援の必要な子どもたちのことです。保護者を始め、保育・療育、教育、医療・保健、行政などに関わる人たちが“めだかの学校”のように集まって行動しようとするものです。当初は、県西部の療育やリハビリの量が、県東部に比べて「東高西低」であることを痛感して、二市八町を纏めて小田原市に頑張ってもらいたいと思い、医療を含む「総合発達支援センター」が必要と声を上げてきましたが、児童福祉法の改正で、市の人口 20 万人に対して 1 か所以上と提言された発達支援センターは、当時「福祉型の発達支援センター」が 1 か所出来ただけで、未だに「医療型」のものは出来ていません。支援事業としての「放課後等児童デイサービス」が多数出来、同時に「放課後児童クラブ」や「特別支援学級制度」などが発展してきました。これまでの活動はひと段落としこの度メンバーを一新、関心が増しているインクルーシブ教育、そして障害の医療モデルから社会モデル・人権モデルについて勉強している最中です。

2022 年 9 月国連・障害者権利委員会が日本政府に対して障害者権利条約の履行状況について総括所見を発表、その中で特別支援教育の中止を勧告したことに市民として強烈な衝撃を受けました。そして安心できる場を作る為に大人がどう行動していくべきなのか、それは子ども達から学んでいくことが近道であるという考えに至りました。

昨年 10 月大阪・豊中市南桜塚小学校を大澤が視察、報告会を大井町にて開催、そして今回の上映会に続きます。7 月に試写会参加を募集したところを 8 人の方が集まり上映会実行委員会を発足し上映会が実現する事になりました。ご協力に心より感謝申し上げます。

・・・不登校も特別支援学級もない大空小学校のドキュメンタリー映画、子ども達と教職員たち、地域の方々とのやり取り等々見どころ満載です。

公立の学校は市・町が運営しています。公立の大空小学校について会場の皆さんと共有し、子どもが本来持つ個性を伸ばせる、そして地域の方が自分たちの学校としてより関心を寄せるきっかけに少しでもなりましたら幸いです。

『みんなの学校』上映会実行委員会

めだかサロン会員 6 名：大澤祥子※ 三浦若菜 奥津晋太郎 大石則子 高橋景子（※実行委員長）

実行委員：和田 彰 上野山元喜 香川千代美 谷口三貴

（敬称略） 御守みどり 檜山智子 重田有紀 網島麻実



めだかサロン
Instagram

11月4日『みんなの学校』上映会アンケート結果

職 種	お住まい	感 想
保護者	小田原市	こうゆう学校が増えてほしい!!! 小田原にも欲しいなあ 広げていきたいです
	小田原市	色々と考えさせられる点がありました。子ども達の笑顔が印象的でした。地域社会とのつながり 社会全体で考えることだなと思いました。
	小田原市	賛否両論するドキュメンタリー作品でした。家庭環境に問題があるアダルトチルドレン、軽度発達障害者であり意思を伝えられないような重度障害児では無かった。教員不足の中で支援員が必ず1対1で必要になる。 生徒を呼び捨てにして従わせている所があるって見受けられた。 小学校だから出来る対応であって高校受験を控える中学になると対応は厳しくなる。支援級や教員不足だから取り沙汰されているが…まだまだ日本では課題が多くて厳しいのが現実だと考えさせられた。 誰かに怪我させたらどうするのか、また、怪我をさせてしまったらどうするのか…撮影されているから堪えている子やヤジを飛ばして受け入れていない子もいた。新設校だからできていたのかとも考えてしまう。 大阪は理解が進んでいるのか?? 校長が変わっても維持ができていいのか?? 色々な障害がある中で発達障害、知的障害も年々増えて行くばかりで共生社会と言われていても 理解を得ることが非常に難しい社会の中で 必ずしも全員に受け入れて頂けるわけではない。と感じました。
	小田原市	子ども自身にしっかり考えさせ、自分の言葉で自分の気持ちを話させる。すぐにその対処をしてあげられる学校の先生方の思いに感動しました。子どもを取りまく、周りの環境で生き方が 変わる。少しでも多くの方がこの思いを知ってもらいたいと思います。全ての人が生きやすい世の中になることを切に願います
	小田原市	もっと早くこんな学校がある事を知っていたら良かった 良い学校でした
	小田原市	支援級在籍児の母です。今日は子どもたちと一緒に見ました。 発達に課題のある子どもを保護者だけが育てるのではなく、学校の先生方、クラスの子どもたち、地域のバトロールの方、みんなが真剣に子どもに向き合っている姿に心をうたれました。 発達に課題がある子どもも不登校の子どもも、ありのままの自分を受け入れてくれ、安心できる場所であれば、人とつながっていくことに喜びを感じ、自分自身の力で精一杯頑張っている姿がとても印象的でした。 子どもが自分らしく生きられるには、人や環境が信頼できることが大切だということを再確認できる映画でした。日常生活や学校生活で悩むこともたくさんありますが、子どもたちと映画の時間を共有できて良かったです。

保護者	小田原市	今日はありがとうございました。支援級に通ううちの息子が最近学校へ行き渋り、感情の起伏も激しく、学校や放デイや各所に「申し訳ありません」と謝ってばかりで母親である自分自身の気も滅入る日々でした。作品の「セイちゃん」が自分の息子を見ているようで感情移入してしまいました。受け入れてもらえるもらえない、普通の事ができない普通じゃない、時にそんな感情に襲われる事もあったのですが、ありのままの姿と個性ですべての子どもたちが一緒に学び合い成長していく姿に涙が出ました。素敵な作品に出会う事ができ、気づきを与えていただきありがとうございました。
	南足柄市	どこの公立学校でもこのような教育が行なわれたら良いな、と思いました。子どもたちが安心して過ごせる学校を作るには、適切な人材と配置が必要と感じるので、行政に動いてほしいです。
	南足柄市	大人も子供もさらけ出し、大人も子供もお互いを自然と思い、結果助け合う事になる姿がよかった。色々な事で壁を作っていたのは自分ですね。
	南足柄市	どこの公立学校でもこのような教育が行なわれたら良いな、と思いました。子どもたちが安心して過ごせる学校を作るには、適切な人材と配置が必要と感じるので、行政に動いてほしいです。
	大井町	ずっと見たかったお話で、見れてすごくよかったです。全国の学校が、大空小学校のようになったらいいと思います。
	大井町	今子供も小4ですが、こんな学校なら行かせたいと思います。現状をみると「人と人の心のつながりが本当に薄いな」と思います。これが日本の現状だと思うし、自分の中でもつながりを持つのに壁を感じるのもあるなと思いました。一人一人が知って少しでも変わって行ければと思います
	大井町	とても良かったです 涙が出ました、校長先生、先生方の関り方、チーム力、凄いいと思います。皆で見えていくって こういう事なのだと思います。大人もわからない所はわからない手伝ってもら 力を出し合う 親への支援 地域の方の理解 素晴らしいです
	大井町	大人が子どもたちの可能性を信じきって、一歩踏み出さるように寄り添い、時に厳しく導いていく姿に感動しました。子どもの姿・表情が変わっていくのが画面越しでも分かりました。子と大人が関りお互いが変わっていく関係性も素晴らしいと思いました。
	開成町	いっしょに 生きる とはを考え、こりかたまった考えをほぐすきっかけになりました。ありがとうございました。
	開成町	地域の皆さんの理解や協力、学校も開かれた姿勢を持っているところに感銘を受けました。先生方に保護者や地域の人のアイディアや考え方を聞いて、学校生活に活かしてもらえるのはどうしたらよいか、毎日悩んでおります。
	足柄下郡	障害のある子どもと一緒に学ぶ事の大切さに気づかされました。人間のやさしさ、校長先生の優しさ、地域のサポート、全てがあたたくて涙がでました。
	足柄下郡	良し悪しを言えません 大人が本音で善の姿をもみせていく 教育においてウソはいらない。
	南足柄市	私もダウン症の娘がいます。小学校一年生からのつみ重ねの関わり方で、先生や周りの友達の関係って大きく変わると感じました。はじめは1,2人くらいクラスにいるのが普通なのにそれが1クラスに10人もいるというのは先生や友達もすごく大変だと思いました←特に先生は本当に苦労されたんだろうなと思います。でも先生が転んでお尻痛いねとか パトロールの人にお守り渡すとか その行動に感動したのがすごく心に残りました。世の中の周りの理解がもっと増える様になればいいなと思います
	東京都昭島	色々複雑な気持ちになりましたが、今回観ることができて良かったです。
	横浜市	観て良かったです。とってもいい小学校で自分の息子にも通ってほしいなと思いました。

保護者	横浜市	校長先生がすばらしく声が通って、関西弁がおもしろみもあり、こんな先生がいてくれたらと思いました。
	その他	思ってた以上のドキュメンタリー映画でした。 本を読んでからこの映画を知ったのですが、今回このような機会に見れてよかったです。 我が子も小学生になる子がいって、日々いろんなことがありますし、みんながみんないろんな考えがあるのでなかなか全てが大空学校のようにはいかないかもしれませんが日本中があのようない理念になってくれたらもっともっと子ども達が過ごしやすく、考える力が豊かになるんじゃないかなあと思いました。
	その他	人と人のふれあいについて考えさせられました。校長先生が度々おっしゃっていた「信じる」ことの大切さを痛感しました。
医療福祉関係者	小田原市	子ども同士、職員、1人ひとりのことを思っていて関わっている姿、感動しました。職員同士みんなで全員を見ていく形、実践もすごいと思いました。声の、振り返りなど、今日見たことを周りにも伝えたいです。
	小田原市	校長先生が大変パワフルで、熱い想いを感じました。保育園で働いていますが、個別配慮をする児童が多くいます。向き合い方の参考にさせていただきたいことがたくさんありました。幼児、小中学校、と地域でこのような取り組み、思いの共有ができると良いなと思いました。
	小田原市	真っ直ぐな愛情、思いは、真っ白な子ども達の心に響く、伝わると信じて…私も これからも目の前の子ども達に真っ直ぐ向き合っていこうと思います
	大井町	先生方の様に、子どもに歩み寄り言いたいことでなく欲しい言葉をかけることの大切さや、子ども達を変えようとするのではなく、大人も含め周りの子ども達が変わっていくことで安心した日常が送れるのだなと改めて感じました。 自分の子育てがこれで良いのかと悩む日々、いい刺激になりました。
	南足柄市	配慮の必要な特性を持つ子も持たない子も、同じ学校に通い、同じ教室、体育館、グラウンドで過ごし、共に、これから生きていくための力をつけている姿が素晴らしい。療育、支援に心や頭が偏っていないか、子どもたちがそれぞれ安心して過ごせる場所になれているだろうか、社会に出て行く子どもたちをイメージして、今関わっているだろうか。学校とは違う視点ではあるけれど、個性を本人やお家の方が認めて、最大限に可能性を伸ばせるために、保護者やサポーター、大勢の方と連携を取って行けたらと思う。 学校は自分たちで作るもの。放課後デイもまだまだできることがあるよなあ
	南足柄市	子供でなく、こちら側の心の在り方と行動変型(?)なんだと思います。小学校だけでなく、中学、高校、大学すべてに通じます。専門職である先生全員みてもらいたい。
	小田原市	素晴らしい内容でした。一人の人がきっかけに先生方により子どもを変えることが保護者(?)が変わり、周りの人をも変えていける可のう性を感じることができました
行政職員	小田原市	インクルーシブ 誰もとり残さない 素晴らしい教育の場 感動しました。この子がいたからこんないい学校になったのだ この言葉 排除せず受け入れるこの心に拍手 素晴らしい映画を見せて頂きました事に感謝いたします
		映画として面白いだけでなく、あたたかい気持ちにさせていただきました。どの子にも居心地の良い場所を、みんなでつくっていただきたいと思います。

教育関係者	小田原市	大空小学校の先生方の子どもと向きあう姿勢に圧倒されました。一方で、言葉の強さ、手を引く強さには少しモヤモヤとしました。子どもとの向き合う気持ちの表れかと思いますが...
	小田原市	すべての子が々空間で学習していて素晴らしいと思いました。そのためには、支援に入れる職員の数をもっと必要だと思います。一人では大変です。支えてくれる仲間が必要だなと思いました。
	小田原市	みんなにとって学びの場になっていると思いました
	小田原市	一人ひとりの思いを大切に、居場所をつくっていくことの大切さをあらためて考えた。学校のわくに子どもをあわせるのではなく、子どもを理解して受け入れることを大事にしていきたい。保護者、地域とのつながりも同時に深めていきたい。
	小田原市	地域保護者、学校教職員、子どもたち 全員が学びつつ、やり直しをしつつ、暖かい繋がりをもって関わりあっている学校だなと思いました。すごいなあ...自分もできることをやりたいです
	小田原市	多くの学び、気づきがありました。12年も前の作品なのに、世の中は全然変化はないなとも思いました。
	小田原市	子どもに接する柔らかさを学びたい。何度でも見たい映画です。
	小田原市	みんなが過ごしやすい環境をつくっていけるのは理想ですが、勉強に集中したいのに気が散ってしまう子や、気にかけてくれる子は負担にならないのか？授業は他の学校と同じようなレベルで履修できているのかなど、サポートする側のことも考えていきたいと思いました。特に、あの子はいいのに私は怒られる...といった気持ちに、どう返して、どのように子どもが受け止めているのか知りたいです。
	小田原市	10年前という、昔の実践ながら、今の時代にも必要な考え方などもあり、とても勉強になりました。できることもあれば、難しいところもありつつ、学校の雰囲気に合わせて様々な要因を考えながら、進めていけると良いと思いました。
	開成町	とっても素晴らしい学校かと思うが、支援員、教員の配置不足現状では担任がつぶれてしまう。やるならみんなで県でやらないと
	開成町	明日からの教育活動のヒントがたくさんありました。ありがとうございました
	開成町	とてもよかったです
	山北町	インクルーシブ教育の形がよく分かる映画でした。今後の教育活動にいかしたいです。
	開成町	木村校長先生には頭が下がります。教育というものの本質を観たように思います。ただただ、自分の力のなさを痛感し、反省とこれからどうあるべきかを考えさせられました。
	東京都日野	子どもたちへのよりそい方が暖かく本当にすてきだなと思いました。明日からの自分の関わりも見つめ直していきたいです
	川崎市	とても考えさせられる映画でした、10年前というのが、一人一人成立するということ 周りをそだてるということが分かりました。
	川崎市	子ども達の笑顔がすてきで、学校教育は、まだまだ変えることができること 勇気をもらえたお話でした。まわりの大人の意識が変わるだけで、子どもの教育はもっと変われると思います。
	その他	とても考えさせられる、素晴らしい映画でした。 社会全体で子どもを見守り、育ててい事が大事ですね。 ありがとうございます。 たくさんの方に見て欲しいですね！
	小田原市	先生たちが生徒さんにかけることは一つ一つ、そのやりとりやよりそいから子どもたちの変化や成長が 本当に感動的でした。 教育の意味や、それを地域全体でとりくんでいくことの意味について、考えさせられました。

一般 その他	小田原市	とても感動しました。我が娘も今、支援級の先生をしております。苦労が分かり又、とても良い学びをしていると思って感謝しています。これからまだまだいるんな子は増えて来ると思いますが、社会全体が子ども達を育て見守って上げていただきたいと思います。ありがとうございました。
	小田原市	本当にステキな愛のある学校でした。校長先生が素晴らしい。こんな校長先生の元で働けたら嬉しいです。子供達と保護者と教員がみんなで力を合わせていられる社会が素晴らしい。12年前のドキュメンタリーが、もっともっと世の中に広まっていけたら良いのにな～
	小田原市	本当に素晴らしい映画でした。木村校長はじめ大空小学校に関わる全てのブシない気持ちの子供たちに伝わっているのだと思います。私の娘も、特別支援学校の教員を目指しているものでぜひ又、このような機会があれば、一緒に見たいと思いました。
	小田原市	教育でインクルーシブ教育が進めなければ、地域、企業内での認め合い学びあう気持ちが育たないと思う。とても重要な取り組みと思う
	小田原市	インクルーシブ教育とはこういうものかと、はじめてハッキリと認識することができました。多くの人に観て欲しいと思いました。「安心」がいかに大切な、安心をテーマに子育てしていこうと思いました。
	小田原市	素晴らしい映画に感動しました！ありがとうございます！
	小田原市	元中学校の教師です。映画を見ながら何度も涙が出ました。子ども達の変わって行く姿に感度しました。勤務していた時は、常に多忙でした。現場では子ども達を前に理想と現実の狭間で悩み、上司からの納得のいかない指示に憤りを感じる事も多々ありました。「みんなの学校」は理想ですが、教師達の余裕がなければ絶対に無理だと感じました。木村校長先生の話す事全てに納得がいきました。あのような校長先生の学校なら、先生も生徒も幸せだと思いました。
	小田原市	親としても保育者としてもとても考えさせられる映画でした。子ども達の未来に不安ばかりですが、子どもが自分で考える力・人を思う力をつけて、安心して学ぶことの出来るインクルーシブ、もっと広がりますように
	小田原市	素晴らしい映画に感動しました！ありがとうございます！
	小田原市	とても心ゆさぶられる良い映画でした。何しろ「みんな」で対応している、職員だけでなく、地域の人達も保護者もまさこんでがんばっている暖かい姿があるからと思いました。「愛」があると思いました。子供と真ん中に向き合っていると思いました。
	大井町	校長の行動力にはびっくり、私達の頃(70)には校長室など怖くて・・・でPTA(?)という言葉や行動が、どの様にとらえていいか、少し考えてみたいと思います
	大井町	1人1人違う人格と暮らしの違いを沢山の方々が人間の育て方一つで姿が素晴らしいし、大変難しいことと痛感です。教育とはこうだ！ということが分かります。勉強になったし涙涙でした。
	大井町	大空小学校を通して子ども達の育つ姿を見られてもう一度人間とはと考えさせられました。地域も学校も親も本気で話し合い考えなければと思います。人はお互いに支え合いながら生きているのですから。多くの人たちに見てもらいたい映画です。
	開成町	とても学べた
	その他	3 インクルーシブ教育は、どの市町村でも必要だと考えました。日々変化している教育は学びや生活の中で考える力をやしなっていると思う。こういうことを受け入れる、ではなく「自然によりそっていける」という世の中になってほしいです。

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業成果報告書

事業名	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原周知セミナー
団体名	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原
事業の内容	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原は、障害のある子のご家族の悩みや相談の内容に対してワンストップで解決の方向をご案内する活動をしていきます。令和6年度は、【地球を守ろう!】代表で環境活動家・実業家の谷口たかひさ氏と、小田原市防災対策課下澤巧氏をお招きしてセミナーを催した。東日本大震災時の障害者の状況と支援者の活動を描く劇映画をプレセミナー上映会として4回行った。また、年度内に数回のミニセミナーを実施。 ◎ミニセミナー5月11日(土) 「新NISAとiDeCoの基本について」 講師 T's F Pオフィス 代表 山宮達也 6月8日(土) 「はたらく」をサポート!～障害者支援センター「ぽけっと」とは? 講師 障害者支援センターぽけっと課長 坂間美貴子 9月14日(土) 「相続と遺言について」 講師 司法書士 守屋智義 10月5日(土) 「成年後見制度を学ぶ～相続を見据えて～」 講師 行政書士 中條 尚 令和7年1月11日(土) 「財産の相続と管理の対策」 講師 行政書士 長尾影正 3月8日(土) 「障害年金更新のポイント」 講師 社会保険労務士 精神保健福祉士 小西一航 ○摂食障害家族会 ○読書会
事業の成果	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原の周知をはかることが目的とした。セミナー参加者は次のような意見があった。「防災行政の現状がよくわかった。行政の力だけでなく市民皆の意識を高めることが必要だと思う。」「危機の実態を分かりやすくお話を聴くことができた。」「日本とドイツの違い 一人一人の意識 温暖化は平和さえ奪う自分がやれることは全てやると言う言葉」地域の中で、障害者や障害を持つ方の家族の相談場所として、障害のある子の親なきあと相談室小田原の周知をはかることができた。
今後の事業展開	今後も、障害のある子の「親なきあと」相談室小田原の周知をはかることが目的とした活動(セミナー、ミニセミナーなど)を地道に継続することで、障害福祉行政などのサービスと連携・補完してまいりたい。

様式第 13 号 (第 13 条関係)

小田原市市民活動応援補助金事業収支決算書

1 収入の部

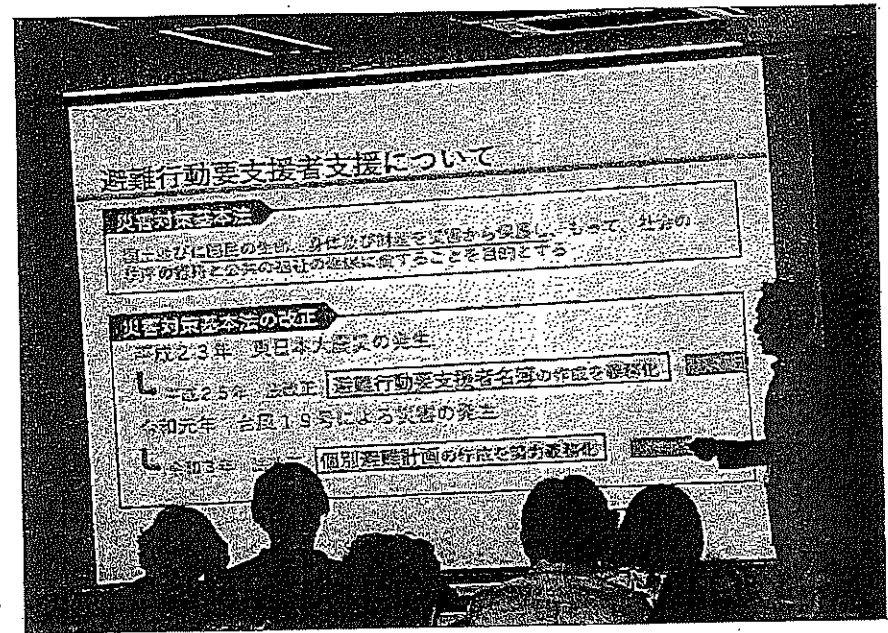
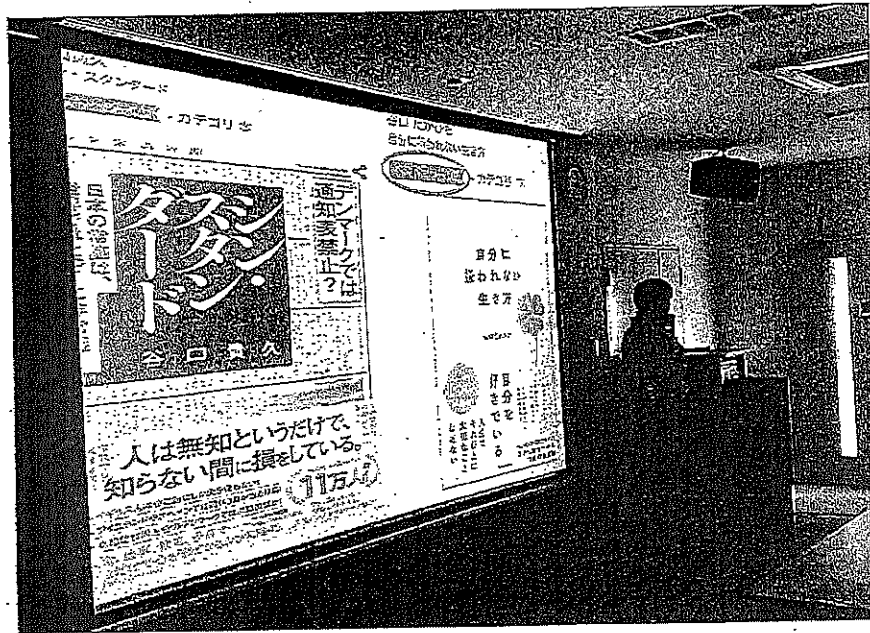
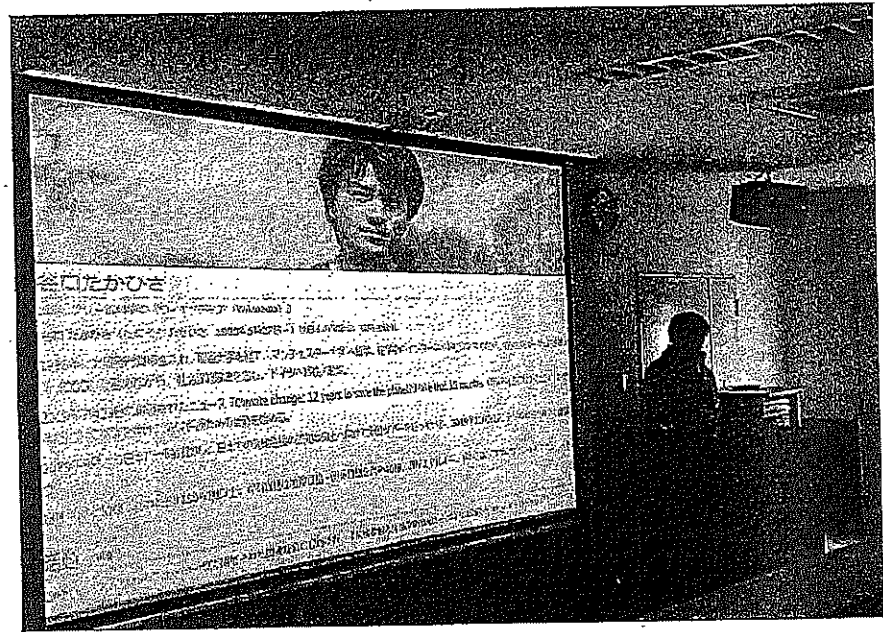
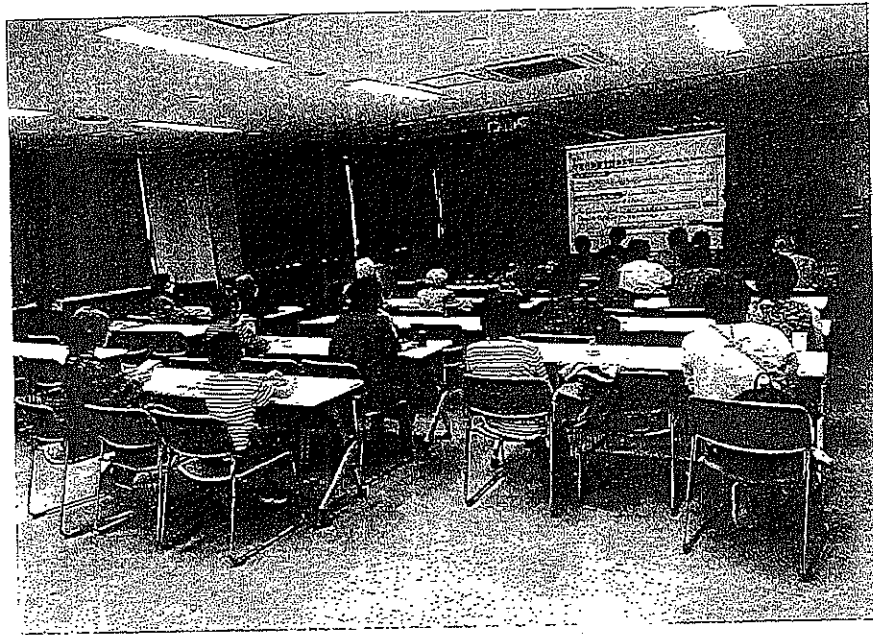
(単位: 円)

科目	金額	内訳 (数量・単価など)・備考
セミナー参加費	15,000 円	セミナー会場参加費 30 人×500 円
ミニセミナー参加費	20,000 円	40 人×500 円
市民活動応援補助金	170,000 円	ステップアップコース
自己資金	33,578 円	
収入合計	238,578 円	

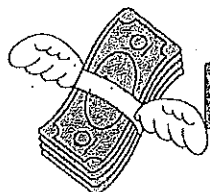
2 支出の部

(単位: 円)

科目	金額	内訳 (数量・単価など)・備考
チラシ印刷	1,370 円	チラシ 300 部印刷 (ラクスル A4 サイズチラシ)
	6,120 円	チラシ 300 部印刷 (ラクスル A4 サイズチラシ)
デザイン制作	7,940 円	セミナーチラシデザイン相談制作料 (ココナラ)
	8,065 円	上映会チラシデザイン相談制作料 (ココナラ)
チラシ郵送料	11,686 円	切手代 レターパック含む
宣伝費	49,500 円	地域誌へ広告 (タウンニュース)
講師謝礼	50,000 円	谷口たかひささん
会場費	6,600 円	ミニセミナー6回 1,100 円×6
会場費	15,100 円	UMECO 会議室 1~3・プロジェクター等使用料
会場費	18,440 円	上映会会場費 (マロニエ、UMECO)
Blu-ray 借用料	50,000 円	きょうされん
消耗品	1,757 円	文房具等
	12,000 円	補助金返還金
支出合計	238,578 円	



親なき後に必要な事は、どんなこと？



障害のある子の「親なきあと」

ミニセミナー2024

ZOOM参加も可能です（お早めにお申し込み下さい）

5月11日（土）

新NISAとiDeCoの基本について

T'sFPオフィス代表 山宮達也

6月8日（土）

**「はたらく」をサポート！
～障害者支援センター「ぽけっと」とは？**

障害者支援センターぽけっと課長 坂間美貴子

9月14日（土）

相続と遺言について

司法書士 守屋智義

10月5日（土）

成年後見制度を学ぶ～相続を見据えて～

行政書士 中条 尚

令和7年

1月11日（土）

財産の相続と管理の対策

行政書士 長尾影正

3月8日（土）

障害年金更新のポイント

社会保険労務士 小西一航

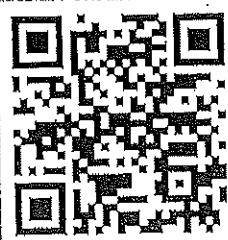
時間：10時30分～11時45分

場所：おだわら市民センターUMECO

オンライン（ZOOM）での参加もOK

募集人数：先着10名

参加費：500円（資料代）



**ご予約は
こちらから**

主催 / 障害のある子の「親なきあと」相談室小田原

お問い合わせ→ 電話0465-46-6800（平日10時～16時）

星に語りて Starry Sky

映画「星に語りて～Starry Sky～」上映会のお知らせ

世界16ヶ国
30の映画祭に選出
16の賞を受賞

2011年3月11日 障害者の状況と支援者の活動を描く劇映画
舞台の一つは、岩手県陸前高田市。高台にある共同作業所「おおざり」では、津波の直接的な被害は免れたものの、仲間の一人を失って落胆する利用者たちを女性所長が励ましなが、一日も早く障害のある人が日常を取り戻せるように一歩を踏み出そうとしていた。そんな矢先、「障害者が消えた」という情報が入ってきた。多くの避難所をまわっても、障害のある人の姿がほとんど見当たらないというのだ。

11月3日(木)にUMECOでのセミナー「気候変動はこの先どうなる、そして災害から大切な人を守るためには？」を催します。セミナーに先駆けて、プレセミナー上映会を催します。入場無料です。どなたでも参加できます。参加申し込み不要。

上映日時・場所

9月16日(月) 敬老の日 10:30～12:30
おだわら市民交流センター(UMECO)会議室①②

UMECOアクセス ▶▶



9月20日(金) 9:30～11:30
9月22日(日) 秋分の日 13:30～15:30
9月23日(月) 振替休日 13:30～15:30
小田原市川東タウンセンター・マロニエ集會室202

小田原市川東タウン
センター マロニエHP ▶



主催者

障害のある子の「親なきあと」相談室小田原
〒250-0011 神奈川県小田原市栄町2-12-4ハピネス杉山305
TEL:0465-46-6800 mail:tsuyoshiko_2017.m@outlook.jp

ホーム
ページ



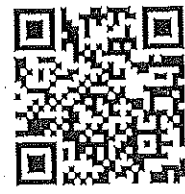
小田原市・小田原市教育委員会・小田原市社会福祉協議会 後援
令和6年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金交付事業

気候変動はこの先どうなる

そして、災害から

大切な人を守るためには？

参加お申込



講師

小田原市防災対策課 下澤 巧さん
環境活動家 谷口たかひささん

谷口さんの活動支援ドネーション(寄付)にご協力をお願いいたします。



詳細

開催日時：2024年11月3日(祝) 13:30～16:45(開場13:15)

場所：おだわら市民交流センターUMECO会議室1～2

会場参加費：500円

UMECOアクセス ▶▶



谷口さんのプロフィール

2019年、ドイツで気候危機の深刻さを目の当たりにし、「みんなが知れば必ず変わる」をモットーに「地球を守ろう!」を立ち上げ、気候危機の発信や講演を開始。世界中から講演に呼ばれるようになり、4年間で通算1,700回以上の講演を達成。初の著書「シン・スタンダード」は発売前の予約段階でAmazon人気度ランキング1位を達成し、ベストセラーとなる。

主催者

障害のある子の「親なきあと」相談室小田原
〒250-0011 神奈川県小田原市栄町2-12-4ハピネス杉山305
Tel:0465-46-6800 mail:tsuyoshiko_2017.m@outlook.jp

ホーム
ページ



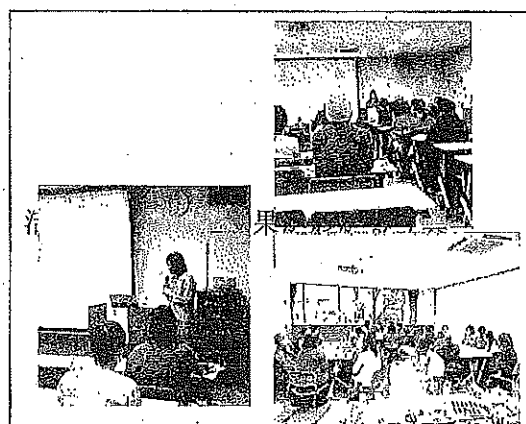
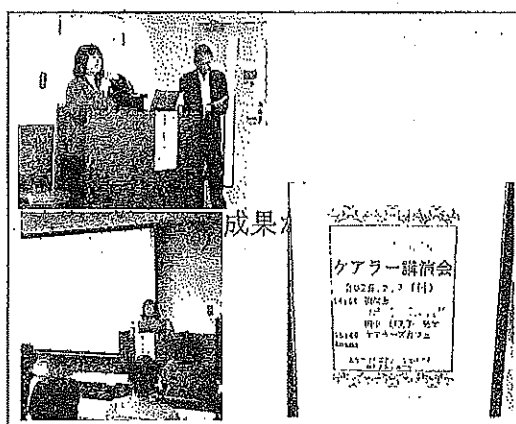
小田原市・小田原市教育委員会・小田原市社会福祉協議会 後援
令和6年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金交付事業

様式第12号 (第13条関係)

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業成果報告書

事業名	あらゆるケアする人をケアする事業 ～本音と弱音が言える場所 MilkyWay～
団体名	MilkyWay
事業の内容	1. ケアラーズカフェ ①実施時期：月1回 ②場所：おだわら市民交流センターUMECO ③概要：ケアラーズカフェ Luana の開催 ④対象：市民、近隣市町村住民（定員：10名程度） ⑤参加費：500円/人 高校生以下は無料 2. ケアラー講演会 ①実施時期：令和7年2月2日 ②場所：おだわら市民交流センターUMECO ③概要：ケアラー講演会 ④対象：市民、近隣市町村住民（定員：50名程度） ⑤参加費：無料 3. チャリティーバザー ①実施時期：令和6年4月23日 ②場所：おだわら市民交流センターUMECO ③概要：チャリティーバザーの開催 ④対象：市民、近隣市町村住民（定員：特になし） ⑤参加費：無料 4. 普及啓発活動 ①実施時期：不定期 ②場所：おだわら市民交流センターUMECO、他 ③概要：チラシ、会報誌、冊子等の配布 UMECO まつり等でポスター展示 ④対象：市民、近隣市町村住民（定員：特になし） ⑤参加費：無料
事業の成果	1. ケアラーズカフェ ケアラーズカフェ Luana を月に1回開催し、月平均10名の参加があった。ケアラー、ポストケアラー、ケアワーカーなど様々な方の参加があった。長く続く介護により疲弊している方々もいた。 2. ケアラー講演会 「ケアってなに？ケアラーってだれ？～ケアラーの理解を深めよう～」をテーマに日本ケアラー連盟理事・ケアラーワークス代表理事の田中悠美子先生を講師にお招きした。 講演会后、mini ケアラーズカフェ Luana を講師を交えて開催。 3. チャリティーバザー 支援者から提供された物品の販売を行いながら、ケアラーではない方々へもケアラーについての周知を行った。 4. 普及啓発活動 ・チラシ、会報誌をおだわら市民交流センターUMECO、小田原市役所

	(高齢介護課、障害福祉課、はーもにい)、小田原市立病院、社会福祉協議会、自動車販売店、飲食店、美容室等に配架。 ・令和7年1月25日にタウンニュースの取材を受け、MilkyWayの活動とケアラー講演会について掲載された。
今後の事業展開	・令和7年1月17日に任意市民団体「MilkyWay」を改め、「一般社団法人 MilkyWay」を設立。 ・令和6年4月からおだわら市民交流センターUMBCOで開催している月に1回(原則)のケアラーズカフェ Luanaを継続する。 ・令和7年8月17日に小田原三の丸ホール小ホールで、ヤングケアラーと保護猫をテーマにした映画「猫と私と、もう1人のネコ」の上映会と監督と医師の対談を開催。 ・ケアラー支援に関連するワークショップや講演会を計画中。



様式第13号(第13条関係)

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
会費	42,000	年会費 6,000 円×会員 7 名
応援制度	100,000	令和 6 年度市民活動・協働応援制度補助金
カフェ参加費	25,500	参加費 500 円× 51 名分
寄附金	3,558	寄付金
バザー売り上げ	10,900	チャリティーバザーの売り上げ
収入合計	181,958	

2 支出の部

(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
①ケアラズカフェの開催		
会場使用料	27,760	会場使用料 UMECO 11 回分
消耗品費	14,310	衛生用品、紙コップ、コピー用紙代インク代封筒等
通信運搬費	0	
印刷製本費	14,370	チラシ作成 1000 部×1 回 300 部×1 回
②講演会		
謝金	33,851	講演会講師謝金、振込手数料
講師交通費	1,842	講師交通費 1 回
通信運搬費	0	切手代
印刷製本費	12,181	チラシ印刷代 900 部×1 回 100 部×1 回 講師資料 50 部×1 回
③チャリティーバザー		
会場使用料	8,200	会場使用料 UMECO 1 回
④普及啓発活動		
会報誌の作成、冊子の購入		
印刷製本費	11,035	会報誌作成 100 部×1 回 500 部×1 回
冊子購入費	51,245	冊子購入費 200 部、振込手数料
消耗品費	7,164	ポスター脚本 2 部、インク代等
	181,958	

令和7年2月2日 ケアラー講演会 アンケート結果
参加者 40 名 アンケート提出者 29 名

MilkyWay

本日は、ご参加いただき誠にありがとうございました。

今後のケアラー支援の充実に向けて、ご意見をお伺いしたく、アンケートを実施させていただきます。当
てはまるものに○印を付けてください。

▼問1：あなたのお住まいは。

小田原市【23】 南足柄市【1】 足柄上郡の町【4】 足柄下郡の町【0】
その他（平塚市、茅ヶ崎市、熱海市）

▼問2：あなたのご年齢は。

10 歳代【0】 20 歳代【1】 30 歳代【6】 40 歳代【3】 50 歳代【8】 60 歳代【8】
70 歳代【1】 80 歳代以上【1】

▼問3：あなたの性別は。

男性【8】 女性【21】

▼問4：ヤングケアラーやダブルケアラーという言葉を知っていますか。

はい【28】 いいえ【1⇒今回の講演会のチラシで知りました】

▼問5：あなたは現在、ご家族等の介護（ケア）などをしていますか。

はい【12】 いいえ【17】

▼問6：あなたは、以前、ご家族等の介護（ケア）などをしていましたか。

はい【19】 いいえ【10】

▼問7：今回の講演会の全体的な内容について、ご満足いただけましたか？

満足【23】 / やや満足【6】 / どちらでもない【0】 / やや不満【0】 / 不満【0】

▼問8：講演について、ご感想をお聞かせください。

大変分かりやすかった【18】 / 分かりやすかった【11】 / どちらでもない【0】 /
一部、分かりづらかった【0】 / 非常に分かりづらかった【0】

- ・「支援につなぐ」必要性は感じました。(60代女性)
- ・いずれ我が身と思い参加させて頂きました。ケアされる方として。(70代男性)
- ・ヤングケアラーの人が思いをはきだせるこうした場づくりが重要ですね。社会全体でたすけていく仕組みをつくっていくために、このような活動を広げてほしいです。(50代女性)

※ご記入、誠にありがとうございました。記載いただいた内容は統計的に処理し、ケアラー支援施策充実
のためのみ使用します。

ケアラーズカフェ Luana

ここは、本音と弱音が言える場所。
福祉などの経験がある優しい仲間とおしゃべりしませんか？

2024.10.16 (水) 18:30~20:30

おだわら市民交流センターUMECO 会議室11

2024.11.3 (日) 13:30~15:30

おだわら市民交流センターUMECO 会議室7

2024.12.13 (金) 18:30~20:30

おだわら市民交流センターUMECO 会議室7

2025.1.12 (日) 13:30~15:30

おだわら市民交流センターUMECO 会議室7

参加費 (お茶・お菓子付き) : 500円 (高校生以下は無料)

ケアラーも

あなたがあなたでいられるように

ヤングケアラーも

私が私でいられるように

ワーカーも

充電できるように

心や体に不調のある人を無償
で介護、看病、療育、世話、
気遣いなどを行っている人

本来大人が担うと想定される
家族の世話や介護などを
日常的に行う子ども

福祉職など支援の仕事に
携わっている人

※厚生労働省・子ども家庭庁
のWebサイトより一部抜粋

MilkyWay

お問い合わせはこちら

Mail milkyway772023@gmail.com

URL <https://www.luana-milkyway.com>



大切な人をケアする人
も大切な人です



令和6年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金交付事業

おだわら男女共同参画推進サポーター

おだわらSDGsパートナー



Think
MIRAI
小田原から未来を考える

ご予約
不要



2025年 2月2日 [日]

第1部 : 14:00~15:30 (開場 : 13:30)

第2部 : 15:40~16:30

おだわら市民交流センターUMECO 会議室1・2・3

小田原市栄町1-1-27 (小田原駅東口から徒歩数分)

第1部 テーマ「ケアってなに？ケアラーってだれ？」

- ① MilkyWayの紹介
- ② ケアラーより
- ③ ケアラーの理解を深めよう

講師 : 田中悠美子 氏



講師 : 田中悠美子氏

一般社団法人日本ケアラー連盟理事
一般社団法人ケアラーワークス代表理事
社会福祉学博士、社会福祉士、介護福祉士
若年認知症の親に寄り添う子ども、認知症の祖父母や高次脳機能障害やうつ病の家族を
ケアする若い世代のケアラー同士のピアサポートのネットワークを広げる事業を展開。
ケアラーと共に社会的課題に向き合い、ケアラーと家族の幸せを追求している。

※講演会参加者に日本ケアラー連盟発行の「ケアラー手帳」をお渡しします。

どなたで
もご参加
いただけ
ます



第2部 miniケアラーズカフェLuana

田中悠美子さんとMilkyWayスタッフとおしゃべりしませんか？

同時開催 MilkyWayのイラストを担当する今関万聖さんの原画展

※MilkyWayはケアラー支援を主目的とした市民活動団体です

主催 MilkyWay
後援 小田原市

▼お問い合わせはこちら
HP : <http://www.luana-milkyway.com>
Mail : milkyway772023@gmail.com



ケアラズカフェ

Luana

2024.4.19 (金) 18:30~20:30

おだわら市民交流センターUMECO 会議室11

2024.5.26 (日) 13:30~16:30

おだわら市民交流センターUMECO 会議室5

以降、奇数月で月に1回 日曜日13:30~16:30

2024.6.26 (水) 18:30~20:30

おだわら市民交流センターUMECO 会議室11

以降、偶数月で月に1回 平日18:30~20:30

参加費 (お茶代込) : 500円 (高校生以下は無料)

49

福祉などの経験がある優しい仲間とおしゃべりしませんか?

ケアラーも

ヤングケアラーも

ワーカーも

あなたがあなたでいられる場所

私が私でいられる場所

お茶できる場所

心や体に不調のある人を無償
で介護、看病、療育、世話、
気遣いなどを行っている人

本来大人が担うと想定される
家族の世話や介護などを
日常的に行う子ども

福祉職など支援の仕事に
している人たち

※厚生労働省・こども家庭庁
のWebサイトより一部抜粋

MilkyWay

お問い合わせはこちら

Mail milkyway772023@gmail.com

URL <https://www.luana-milkyway.com>

Tel 090-7232-6514 小林

Tel 090-7226-9901 田中

バザーとケアラズカフェ体験

MilkyWayまつり 第2回

~やさしい春の風♪ケアラズカフェLuanaのイベントです~

2024年 4/29 (月)

10:00~16:00

バザー
洋服・雑貨・日用品など

ちょこっとケアラズカフェ
ハンドエステなど



会場

市民交流センターUMECO
会議室11

小田原市栄町1-1-27

売上金はケアラズカフェLuanaの活動で大切にに使わせていただきます。
ケアラズカフェLuanaについては裏面をご参照ください。

お問合せ

▼メールまたはお電話で

milkyway772023@gmail.com

MAIL&TEL 090-7232-6514 (小林)

090-7226-9901 (田中)

主催: MilkyWay

多様な生き方を認め、共にみんなで、あるいは一人でも力強く生きて行けることを考えるグループです。

やさしい音楽のシャワーを
あなたにも

第3回 MilkyWayまつり セタチャリティー コンサート

2024年7/7(日)

14:00 開場

14:30 開演

ケーキセット付 3,000円

クラシックとポップスの中から、
やさしくて温かな曲をお届けします♪



ソプラノ 増田望美

大阪芸術大学演奏学科
音楽教育コース卒業。
大阪芸術大学芸術研究科
修士課程前期声楽専攻修了。



ピアノ 佐藤美希

国立音楽大学ピアノ科卒業。
佐藤音楽教室主宰。
ソロや伴奏など、演奏活動
を全国各地で行っている。

MilkyWayは、主にケアラー支援を行う市民活動団体です。
おたわら市民交流センターUMECOで「ケアラーズカフェ
Luana」を開いています。ポスター展示や講演会などで
地域の皆さんとケアラー支援について考えていきます。
今回は、音楽家のお二人にご協力いただきました。
コンサートの収益の一部を団体の活動費として大切に
使わせていただきます。

★お申込みはお電話かメールで★

MilkyWay

TEL 090-7232-6514(小林)

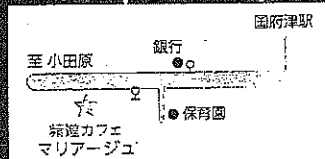
090-7226-9901(田中)

MAIL milkyway772023@gmail.com

URL http://www.luana-milkyway.com



会場
精進カフェ越重樹(マリアージュ)
小田原市国府津3-13-4
JR国府津駅から小田原方面に徒歩5分
国道1号線左側の古民家



ケアラーズカフェ Luana

ここは、本音と弱音が言える場所。
福祉などの経験がある優しい仲間とおしゃべりしませんか？

2024.7.28(日) 13:30~16:30

おたわら市民交流センターUMECO 会議室5

2024.8.23(金) 18:30~20:30

おたわら市民交流センターUMECO 会議室11

2024.9.15(日) 13:30~16:30

おたわら市民交流センターUMECO 会議室11

寄席月 月に1回 日曜日 13:30~16:30

個室月 月に1回 平日 18:30~20:30

参加費(お茶代込) : 500円(高校生以下は無料)

ケアラーも

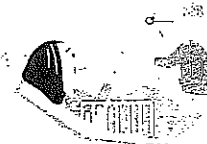
あなたがあなたでいられるように

ヤングケアラーも

私が私でいられるように

ワーカーも

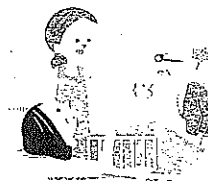
充電できるように



心や体に不調のある人を無償
で介護、看病、療育、世話、
気遣いなどをしている人



本来大人が担うと想定される
家族の世話や介護などを
日常的に行う子ども



福祉職など支援の仕事を
している人たち

MilkyWay

お問い合わせはこちら

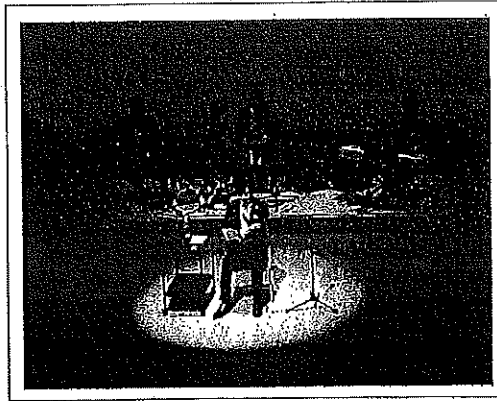
Mail milkyway772023@gmail.com (小林・田中)

URL https://www.luana-milkyway.com

※厚生労働省・こども家庭庁
のWebサイトより一部抜粋



事業名	いじめのない社会へ「いじめストップ!ピンクシャツデー」事業
団体名	ピンクシャツデー小田原実行委員会
事業の内容	カナダの高校生が始め、いまでは世界中に広がっている「いじめ撲滅運動」のピンクシャツデーを実践。市民に「いじめをなくそう」という意識の向上を促し、さらなる意識醸成、多様性社会、共生社会の啓発を図ることを目的とし、2025年2月22日に小田原三の丸ホール小ホールで入場無料のチャリティイベント「いじめストップ!ピンクシャツデー」を開催。俳優の合田雅吏さん、バイオリニストの式町水晶さん等をゲストに招き、音楽やトーク、朗読をメインとしたステージを通じて、いじめのない社会づくりを啓発しました。
事業の成果	来場者数は約200人。出演者とスタッフを入れると約280人が三の丸ホールの空間で、いじめについて考える時間を共有しました。特に今年初めて実施した作文と詩の公募では、いじめられてそれを乗り越えた経験者の投稿があり、考えさせられる内容でした。市立小学校の元教諭で詩人の故三宮龍也さんの詩の朗読も大きな反響がありました。来場者アンケートでは80人以上が詳細な感想文を寄せてくださいました。「いじめをなくすことは難しいかもしれないが、立ち止まって考える時間が必要。それがこのイベントだと思う。毎年、続けてほしい」などという声をたくさんいただきました。また、今年初めて、いじめ経験調査を質問項目に入れたところ、複数回答で「いじめられた」「いじめた」「傍観した」のすべてに丸が付く人も少なくなく、この問題の根深さを感じさせる結果となりました。
今後の事業展開	いじめについて考える作文と詩の公募を今年よりさらに広げ、学校や事業所単位で取り組んでいただけるように働きかけます。また、今回のアンケート結果を何らかの形にまとめ、情報共有する手段も同時に考えたいと思います。次回は2026年2月21日に三の丸ホール小ホールで開催すると決定したので、トークや朗読の内容をさらに吟味し、より深く考える機会を皆様に提供できるよう、お招きするゲストやトーク登壇者の選定を進めてまいります。



様式第13号(第13条関係)

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
協賛金・支援金	86,000	協賛金(㈱うしろ、八三財団など6者)および支援金(会場での募金)
市民活動・協働応援制度補助金	200,000	市民活動・協働応援制度補助金
自己資金	734	
収入合計	286,734	

2 支出の部

(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
会場費1	20,650	小田原三の丸 小ホール使用料 20,650
会場費2	43,100	小ホール楽屋G・H・I使用料 2,300 マイクセット等器具使用料他 40,800
音響・照明費	46,100	電源ユニット 34,000 機材レンタル代 12,100
印刷代	25,066	広報印刷インク代 5,536 ちらし印刷3000枚 6,680 ちらし印刷1000枚 2,840 プログラム印刷300部 7,830 アンケート用紙300部 2,180
主演者謝礼 (交通費弁当代含む)	138,373	メイン出演者謝礼わをんを除く6人分 110,000 昼食弁当代 23,100 (メイン出演者にダンスチーム、トークゲスト等含む) 出演者飲み物代など 5,273
事務消耗品費	11,421	養生テープ、コピー用紙、ノート、マジック、マイク電池ほか (投稿者謝礼用封筒と色紙等含む)
通信費	2,024	ちらし送付、朗読資料送付レターパック等
	286,734	

開催報告 ピンクシャツデー2024 年度 イベント
「いじめストップ！ピンクシャツデー
『やさしい気持ちをあなたに』」
2025 年 2 月 22 日(土)午後1時～4時
小田原三の丸ホール小ホール



外面

56

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業成果報告書

事業名	NP0 法人報徳食品支援センター
団体名	フードバンク事業による 生活困窮の方々への支援
事業の内容	各メーカー等により調達した食品を市町、各地の社会福祉協議会母子家庭支援団体等を通じて生活困窮者の方々に配布している。今年度も引き続き食品配布を実施しているが、物価上昇の影響もあり生活に困窮されている方からのニーズが増加し、様々な場所で予定より多くの食材が必要となった。 小田原市内17か所にある市営住宅の入居者（老老介護者、独居老人）に物価上昇に伴う生活費補助の一助になればとの思いで年金支給月の上旬に地域の集会所を会場として配布会については配布場所を拡大し2か月に一度6回/年実施した。
事業の成果	生活に困窮されている方は物価高の影響でさらに困窮しており、また、買い物へ行くことのできない高齢者も増加しており、この事業は年々ニーズが増加している。配布量の増加で追いつない状況になり、来年度以降の自走での事業展開も想定し、資金繰りを考え、今回は自己資金分をあてて事業拡大を行うという方法をとらせていただいた。 高齢者は外出が困難であるため冷凍食品などの日持ちする食材の確保が必要だが、通常の団体への食糧品寄附では食品の種類を選ぶことができず、適切なものを配布することができないことも多くある。そのため、必要な食料品を購入で確保する仕組みは重要であり、資金を確保しての事業展開はメイン事業になりつつあると捉えており、来年度以降も継続して実施していくことが大切であると感じている。 また今回、事業を実施して各市営住宅の経過を冷静に観察すると、本事業の浸透により生活に困窮する方、外出が困難な方が配布会を楽しみに外出し、配布会を通じて各人が会話を交わす機会を生んだ事になり待合の時間、テント内での会話が、こちらサイドでは嬉しい変化だと感じている。さらに各人の住まいから集会所までの往復の姿勢も猫背状態から背筋が伸びて来ているようで何とも嬉しい事である。
今後の事業展開	自走のための仕組み作りとして民間助成金の獲得や寄付者を募るなど、資金確保についての情報収集を行い、ニーズに合わせての食料品確保ができるよう努め、社協等と協力のもと配布事業を継続していく。市営住宅での配布は全17か所中、5か所で実施したが、今後もニーズに合わせて配布場所を拡大し1回/2か月のリズムで継続していきたい。 また、今後は2市8町へも同様に展開していきたいと考えている。

様式第13号（第13条関係）

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

（単位：円）

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
小田原市補助金	300,000	小田原市市民活動・協働応援制度補助金
その他の助成金	250,000	寄附金（鎌倉ユネスコ協会）25万
	603,697	寄附金（個人）61万から
収入合計	1,153,697	

2 支出の部

（単位：円）

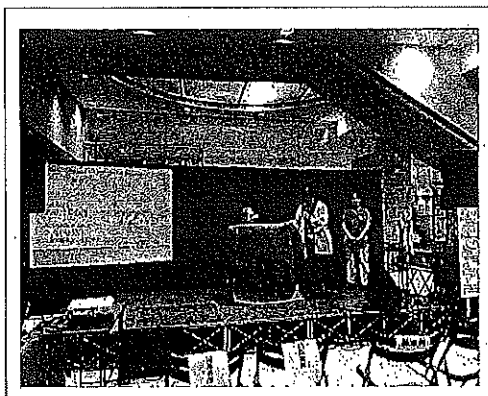
科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
食品購入代	319,777	高齢者用食品 おいしごはん3食入り 110,246 肉しゅうまい 61,398 若鳥からあげ 47,822 エビ寄せフライ 23,328 ギョーザ 52,488 牛肉コロッケ 24,624 支払額 319,777（値引きあり）
冷凍食品購入費	833,920	冷凍食品 WILDish エビピラフ 432,000 WILDish 焼豚五目炒飯A 414,720
支出合計	1,153,697	



様式第12号（第13条関係）

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業成果報告書

事業名	乳がん啓発「ピンクリボン運動」を中心とするがん検診啓発事業
団体名	ピンクリボンぷらす ODAWARA 女性のがんを考える会
事業の内容	乳がん検診をはじめとする各種がん検診、小田原市内で低迷が続いている健康診断（特定健診）の受診率を向上させ、がんの早期発見・早期治療の推進につなげる目的で活動。がんの正しい知識を高める展示やトークイベント、啓発物配布などの事業を実施。 9月26日から10月5日まで、市民交流センターUMECOホワイエで、乳がん啓発ブレストアウェアネスの展示を行いました。 10月12日には地下街ハルネ小田原うめまる広場で、音楽演奏やワークショップ、湘南ベルマーレフットサルクラブによる子供の遊びコーナーも交えたイベントを開催。市立病院看護師と市健康づくり課による「乳がん検診に行こう」「集団検診に行ってみた」の発表や、がん検診受付ブース、小田原医師会渡邊清治会長と乳がん経験者のトーク、バイオリニスト式町水晶さんの母・景子さんの「家族ががんになったら」のトークなどを盛り込み、市民ががんについて知る機会を提供しました。
事業の成果	加藤市長をはじめ多くの方にご来場いただき、カウントできた人数は281人、SNSライブ配信視聴回数は1200回に達しました。会場配布アンケートには155人が回答。来場者の年齢層は、地下街というショッピングスペースの一画だったこともあり、女性が大半を占め、40代以下の若年層が30%、50代以上の中高年層が60%。このイベントを機に「がん検診を受けようと思った」という回答が全体の80%。内容の濃い情報提供や、イベントとしての充実度を評価していただき、「イベントに満足した」という回答が全体の83%。そうした中で、市のがん検診ブースでは、7人から検診の申し込みもあり、本イベントによる啓発活動の効果が感じられました。
今後の事業展開	引き続き市と協働し、この活動を進めていくと同時に、協賛団体・企業や地域コミュニティの間で、がん啓発の講演・展示を実施したり、勉強会を開いたりしたいと考えています。次年度（2025年度）も10～11月に同様の展示とイベントを行う予定です。一般の方が来場しやすい地下街ハルネで毎年、ピンクリボン月間に合わせた啓発イベントを、市と共催できるようになることが目標のひとつです。 さらに、市のがん検診の対象とならない40歳未満の若年層にも、今まで以上に働きかけ、がんの知識啓発と、40歳になったら必ず検診を受けるという意識を持っていただくことを目指します。 また、子育て中の世代には、市の集団検診に子連れでも参加できることなど、あまり知られていない情報・知識も広めたいと思います。今後も私たちは、1人でも多くの人が正しいがんの知識を持ち、自発的・定期的に検診を受け、誰もが日常生活の質をより良く保てるような社会づくりの、一助となることを目指してまいります。



様式第13号(第13条関係)

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
1 市民活動応援補助金	300,000	市民活動・協働応援制度補助金
2 会費収入ほか	60,270	年間会費収入より
収入合計	360,270	

2 支出の部

(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
イベント事業費		
1 会場費	11,287	施設利用料 1,287、機材レンタル 10,000
2 印刷費	33,010	ちらし 7,580 ちらし追加 2,730 ポスター 6,410 当日パンフレット 9,890 アンケート 2,390 当日配布用啓発チラシ 3,510 カンパジイラストコピー代 500
3 出演者謝礼	170,000	式町水晶・啓子さん、ベルマーレ、わん、パーリーズ、小田原医師会長など講師・ゲスト出演謝礼
4 交通費	15,590	講師・ゲスト出演者の移動と物品運搬交通費
5 イベント消耗品費(展示備品費を含む)	81,618	展示備品費として乳がん検診モデル 49,700 装飾用ピンク不織布 3,279 カンパジマシン 16,449 リストバンド 1,560 バルーンリボン 300 バルーンクリップ 410 ヘリウムガス 8,380 CD 1,320 マスク 220
6 事務消耗品費	10,724	プリンターインク 5,770 クリップ鉛筆 3,959 サークルカッター996
7 通信費	740	講師への依頼書等郵送代 740
8 イベント運営費	37,301	出演者の飲み物、昼食、軽食等
支出合計	360,270	



小田原市健康づくり課

小田原市市民活動
協働応援制度補助金事業

と
ピンクリボンふらすODAWARA

入場
無料

2024

ピンクリボン フェスティバル

乳がん
検診に
行こう

大切なあなたのために 大切なあの人のために
まずは知ってほしい 乳がんのこと がんのこと
いつも忙しいママだから 今日はお子さんと遊びながら
自分の体のことも考える日にしませんか！？

10.12 ± 11:00-16:00

HaRuNe小田原・うめまる広場

小田原駅東口 徒歩0分 地下街

ステージ

- 11:00- ザ・パーリースオープニングライブ
- 11:30- 乳がん検診に行こう！
小田原市健康づくり課 小田原市立病院看護師
- 12:15- 「わん」LIVE
- 13:00- 乳がん検診前にできる セルフリンパマッサージ
リンパインストラクター@増田智子さん
- 13:30- 乳がんが見つかった！治療した！その後は？
かかりつけ医に相談できること
小田原医師会会長 渡邊清治先生
JCOM湘南神奈川取締役 矢端雅子さん
- 14:15- ママががんになったとき
式町啓子さん
ピンクリボンふらすODAWARA代表 前川育さん
- 15:00- 脳性まひのバイオリニスト
式町水晶さんのトーク&演奏

ワーク マルシェ

- 選手とリフティング競争
湘南ベルマーレフットサルクラブ
飴細エプレゼント 飴善さん
アロマクリームづくり
おひるね生（いき）ごみハーブ畑
小児がん支援レモネードスタンド
缶バッチづくり&プレゼント
ピンクリボンふらすODAWARA

アンケートに答えてくじ引き（景品あり）

展示ブース

- 小田原市立病院 | ウィッグ、ネイル体験
小田原市健康づくり課 | 乳がん検診予約
ピンクリボンふらすODAWARA |
術後入浴着 アウェアネス
検診に行ってみた

主催 | ピンクリボンふらすODAWARA
小田原市健康づくり課

協力 | 小田原医師会 小田原市立病院 国際医療福祉大学
湘南電力 湘南ベルマーレフットサルクラブ
万葉の湯 わをん 小田原ウイメンプラス

お問合せ | ピンクリボンふらすODAWARA事務局
☎ 070-8490-8968
✉ pinkribbon.p.odawara@gmail.com
小田原市健康づくり課
☎ 0465-47-4724